

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S



型式：YY2950

クイックスタートガイド

⚠ 水濡れによる焼損や故障を防ぐために

アプリをダウンロードして、ヘッドセットのセットアップをしましょう



すべての機能・性能改善をご利用いただくために、ヘッドセットのソフトウェアや“Sony | Headphones Connect”アプリは最新のバージョンをお使いください。詳しくは、下記をご覧ください。

<https://www.sony.net/elesupport/>

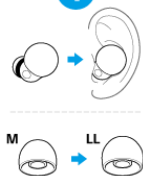
なお、“Sony | Headphones Connect”アプリは2024年10月より、アプリ名と画面を一新し、“Sony | Sound Connect”アプリとして提供を開始しました。

使い始めよう



1

装着する



ヘッドセットを回転させながら、イヤープースが最も耳穴の奥に入るようにしてください。

2

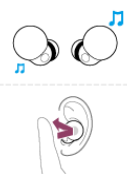
BLUETOOTH®接続する



ヘッドセットを充電ケースから取り出すと、電源が入ります。
ダウンロードした“Sony | Headphones Connect”アプリの指示に従ってください。

3

ヘッドセットで操作する



タッチセンサー中央部を人差し指の腹を使ってタップします。

L側

- : ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の切り替え
- : Quick Access (“Sony | Headphones Connect”アプリでの設定が必要)
- : Quick Access (“Sony | Headphones Connect”アプリでの設定が必要)
- : 音量を下げる
- : クイックアテンションモードを使用する

R側

- : 再生／一時停止
- : 次の曲の頭出し
- : 前（再生中）の曲の頭出し
- : 音量を上げる
- : 音声アシスト機能（Googleアプリ／Siri）の起動／解除

関連情報

[手動でBluetooth接続する](#)

[ヘッドセットを充電する](#)

WF-LS900N

準備する

[Bluetooth機能でできること](#)

[音声ガイダンスについて](#)

付属品について

[箱の中身を確認する](#)

[イヤープースを交換する](#)

各部の名称

[各部の名称](#)

[ランプ表示](#)

ヘッドセットを装着する

- ― [ヘッドセットを装着する](#)

- ― [片側のヘッドセットだけを使う](#)

ヘッドセットを操作する

- ― [タッチセンサーについて](#)

- ― [Quick Access（クイックアクセス）を使う](#)

電源／充電

- ― [充電する](#)

- ― [使用可能時間](#)

- ― [充電式電池の残量を確認する](#)

- ― [ヘッドセットの電源を入れる](#)

- ― [ヘッドセットの電源を切る](#)

接続する

[Bluetooth接続をするには](#)

アプリを使ってかんたんに接続する

- ― [“Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続する](#)

Android搭載スマートフォン

- ― [Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

- ― [Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

- ― [機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)

iPhone（iOS搭載機器）

- ― [iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

- ― [機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)

ウォークマン®

- ― [ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

- ― [ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）](#)

- ― [機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する](#)

- ― [機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）](#)

パソコン

- ― [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 10）](#)

- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）](#)

- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）](#)

- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)

- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)

- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）](#)

その他のBluetooth機器

- [Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

- [機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する](#)

マルチポイント接続

- [2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)

["音声の切り替え"で複数機器間の音声を切り替える](#)

[Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

音楽を聞く

Bluetoothを使って音楽を聞く

- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)

- [音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)

- [360 Reality Audioについて](#)

- [スピーカーと組み合わせてシームレス再生を楽しむ（Auto Switch）](#)

ノイズキャンセリング機能

- [ノイズキャンセリング機能とは](#)

- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)

周囲の音を聞く

- [音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））](#)

- [すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）](#)

- [ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）](#)

音質モード

- [音質モードについて](#)

[対応コーデックについて](#)

[DSEE Extremeについて](#)

通話する

[電話を受ける](#)

[電話をかける](#)

[通話時にできること](#)

[パソコンでビデオ通話する](#)

音声アシスト機能を使う

[Google アシスタントを使う](#)

[Amazon Alexaを使う](#)

[音声アシスト機能（Googleアプリ）を使う](#)

[音声アシスト機能（Siri）を使う](#)

アプリを使う

[“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

[“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする](#)

[“Sony | Headphones Connect”アプリからサポート情報を見る](#)

[ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）](#)

サービスとの連携でできること

[サービスとの連携でできること](#)

お知らせ

[使用上のご注意](#)

[使い終わったら](#)

[お手入れ](#)

[水濡れによる焼損や故障を防ぐために](#)

[ヘッドセットや充電ケースが水に濡れてしまった場合は](#)

[ライセンスについて](#)

[商標について](#)

[保証書とアフターサービス](#)

[電話・ファックスで問い合わせる](#)

[サポートホームページで調べる](#)

困ったときは

[故障かな？と思ったら](#)

電源／充電

- [電源が入らない](#)
- [勝手に電源が切れてしまう](#)
- [充電できない](#)
- [使用時間が短い、電池の持ちが悪い](#)
- [充電時間が長い](#)

音（音声）

- [音が出ない、片側から音が出ない](#)
- [音が小さい](#)
- [音質が悪い、ノイズや異音が聞こえる](#)
- [音が途切れやすい](#)
- [音楽再生中にノイズが入る](#)
- [ノイズキャンセリング効果が得られない](#)

Bluetooth接続

- [機器登録（ペアリング）できない](#)
- [Bluetooth接続ができない](#)
- [ヘッドセットを操作できない](#)
- [通話相手の声が聞こえない・声が小さい、通話相手に声が届かない・声が小さい](#)
- [LE Audio接続できない](#)
- [Classic Audio接続に戻せない](#)

その他

- [イヤークリップが破損した、紛失した](#)
- [耳が痛くなる](#)

ヘッドセットをリセット・初期化する

- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

主な仕様

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

Bluetooth機能でできること

ヘッドセットではBluetooth技術を使って以下のようなことができます。

音楽を聞く

スマートフォンや音楽プレーヤーなどからワイヤレスで音楽を楽しめます。



通話する

スマートフォンや携帯電話をカバンやポケットの中に入れたまま、ハンズフリーで通話ができます。



関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

音声ガイダンスについて

お買い上げ時の状態では、ヘッドセットを耳に装着すると日本語の音声ガイダンスが流れます。

“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、音声ガイダンスの言語の変更やオン/オフの切り替えができます。詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリのヘルプガイドをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

- お買い上げ後に初めて機器登録（ペアリング）するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）に、充電ケースからヘッドセットを取り出して両耳に装着し、自動的にペアリングモードになったとき／手動でペアリングする場合、ペアリングモード中にヘッドセットを充電ケースから取り出して両耳に装着したとき：「ペアリングモード」
- ヘッドセットの充電式電池の残量が少なくなったとき：「バッテリーが少なくなりました」
- ヘッドセットの充電式電池の残量が少なくなって自動的に電源が切れるとき：「バッテリーがなくなりました」
- ソフトウェアアップデート中にGoogle™ アシスタントが使用できないとき：「Googleアシスタントはアップデート中は使用できません。アップデート完了までお待ちください。」
- Google アシスタントを設定した側のヘッドセットを操作しても、ヘッドセットに接続したスマートフォンでGoogle アシスタントが使用できないとき：「Google アシスタントが接続されていません」
- Amazon Alexaを設定した側のヘッドセットを操作しても、ヘッドセットに接続したスマートフォンでAmazon Alexaが使用できないとき：「モバイルデバイスが接続されていないか、Alexaアプリを起動して再度お試しください」
- サービスとの連携がオフでQuick Accessが使用できないとき：「Headphones Connectを起動し、サービスとの連携をオンにしてください」
- ソフトウェアアップデート中にQuick Accessが使用できないとき：「アップデート中は使用できません。アップデート完了までお待ちください」
- Quick Accessを設定した側のヘッドセットを操作しても、対応するアプリが起動していないとき：「Quick Accessに割り当てたアプリが起動していません」

ご注意

- 音声ガイダンスの言語を変更する場合は、約20分間ほど時間がかかります。
- 音声ガイダンスの言語を変更した状態でヘッドセットを初期化すると、言語も初期状態に戻ります。
- 音声ガイダンスの言語変更やヘッドセットのソフトウェアアップデートを行った後に音声ガイダンスが聞こえなくなった場合は、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして電源を切ってから、もう一度ヘッドセットを取り出して電源を入れてください。

関連項目

- [片側のヘッドセットだけを使う](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

箱の中身を確認する

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
() 内は個数を示します。

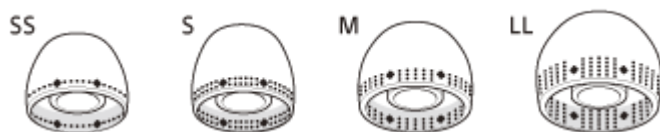
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

USB Type-C®ケーブル (USB-A - USB-C®) (約20 cm) (1)



ハイブリッドイヤーピース (SS/S/M/LL 各2)

- お買い上げ時には、Mサイズのイヤーピースが左右のヘッドセットに装着されています。
- ヘッドセットの本体色により、下記いずれかのイヤーピースが付属されています。
 - － イヤーピースのサイズは、イヤーピース下部の内側にあるドットの線の数で見分けます。



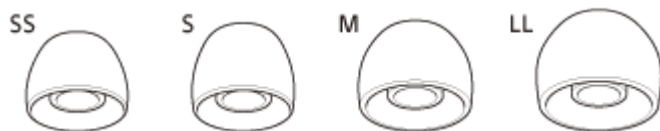
SSサイズ : 1本線

Sサイズ : 2本線

Mサイズ : 3本線

LLサイズ : 5本線

- － イヤーピースのサイズは、イヤーピースの内側の色で見分けます。



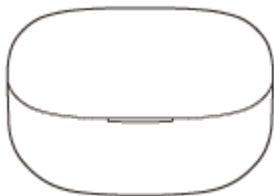
SSサイズ : 赤色

Sサイズ : 橙色

Mサイズ : 緑色

LLサイズ : 紫色

充電ケース (1)



ご注意

- Lサイズのイヤークリップは付属していません。
Lサイズのイヤークリップ（EP-EX11シリーズ）は、ソニーストアまたはソニー製品取扱店でご購入いただけます。
- イヤークリップは消耗品です。付属のイヤークリップが破損し交換する場合は、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

関連項目

- [イヤークリップが破損した、紛失した](#)

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

イヤークピースを交換する

お買い上げ時には、Mサイズのイヤークピースが左右のヘッドセットに装着されています。

イヤークピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていないと、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。

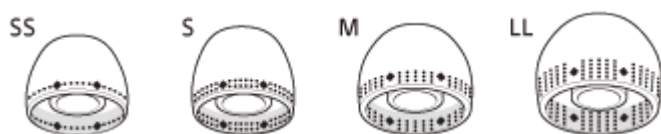
その場合は、以下をお試しください。

- より密閉感が高いと感じられるイヤークピースに交換してください。イヤークピースを交換するときは、大きめのイヤークピースからお試しください。左右のイヤークピースのサイズが異なる場合もあります。
- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能を最大限に発揮するために最適なイヤークピースを測定することができます。
- ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤークピースがより耳の奥に入るよう装着してください。

ハイブリッドイヤークピース

ヘッドセットの本体色により、下記いずれかのイヤークピースが付属されています。

- イヤークピースのサイズは、イヤークピース下部の内側にあるドットの線の数で見分けます。



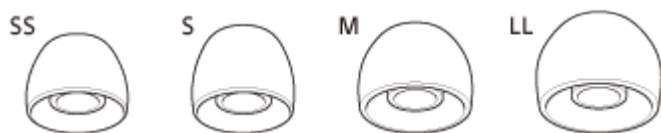
SSサイズ：1本線

Sサイズ：2本線

Mサイズ：3本線

LLサイズ：5本線

- イヤークピースのサイズは、イヤークピースの内側の色で見分けます。



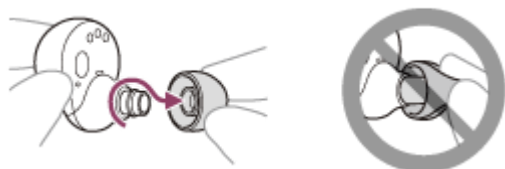
SSサイズ：赤色

Sサイズ：橙色

Mサイズ：緑色

LLサイズ：紫色

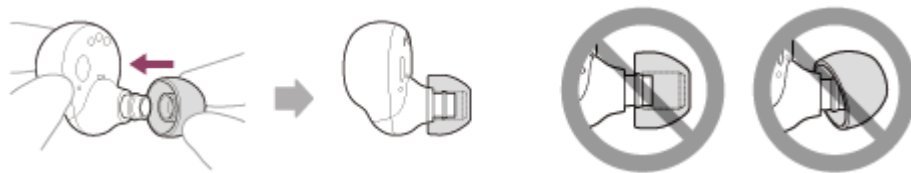
1 イヤークピースを外す。



ヘッドセットを持ち、イヤークピースをねじりながら、回転させて引き抜いてください。

イヤープースの端をつまんで引っ張らないでください。

2 イヤープースを取り付ける。



イヤープースを奥までしっかり押し込んでください。イヤープースを斜めに取り付けしないでください。

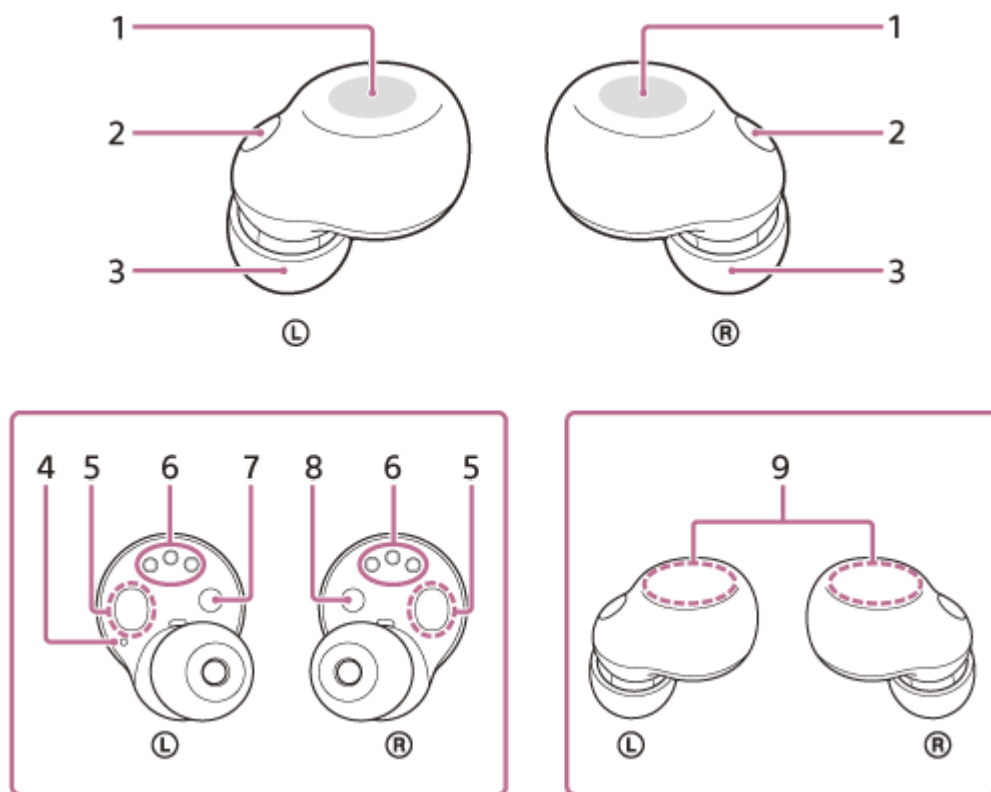
関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

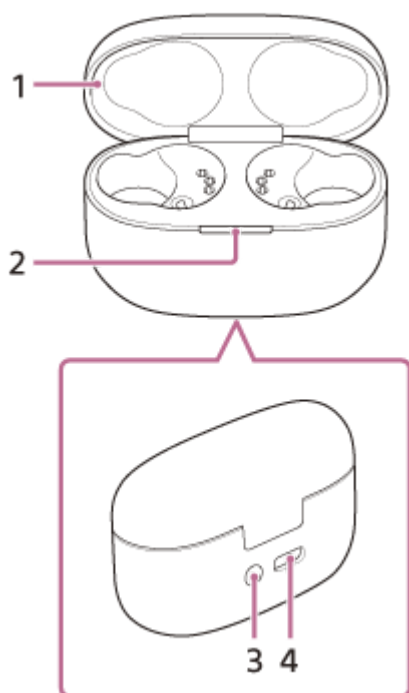
各部の名前

ヘッドセット



1. タッチセンサー（左、右）
2. マイク（左、右）
3. イヤーピース（左、右）
4. 凸点（突起）
L側のヘッドセットには凸点（突起）がついています。
5. IRセンサー（左、右）
6. 充電端子（左、右）
7. ㊿（左）マーク
8. ㊿（右）マーク
9. 内蔵アンテナ（左、右）
Bluetoothアンテナが左右それぞれのヘッドセットに内蔵されています。

充電ケース



1. ふた
2. ランプ（緑／オレンジ／青）
ヘッドセットの電源状態や通信状態、充電状態などを表示します。
3. ペアリング／初期化／リセットボタン
機器登録（ペアリング）モードにするときや、ヘッドセットを初期化したりリセットしたりするときに使います。
4. USB Type-C端子
付属のUSB Type-Cケーブルで、充電ケースをパソコンにつなぐか、別売のUSB ACアダプターを使って電源コンセントにつないで、ヘッドセットと充電ケースを同時に充電します。

関連項目

- [ランプ表示](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

ランプ表示

ヘッドセット／充電ケースの動作状態を充電ケースのランプで確認できます。

●：緑色点灯／●：オレンジ色点灯／●：青色点灯／-：消灯

充電式電池の残量表示

両側のヘッドセットを充電ケースにセットしている場合：左右のヘッドセットのうち、残量が少ない方の充電式電池の残量を表示します。

片側のヘッドセットのみ充電ケースにセットしている場合：セットされているヘッドセットの充電式電池の残量を表示します。

両側のヘッドセットを充電ケースから取り出している場合：充電ケースの充電式電池の残量を表示します。

充電ケースのふたを開けたとき、ふたを閉めたとき、あるいは充電が終了してUSB Type-Cケーブルを外したときに、充電式電池の残量により以下のように表示されます。

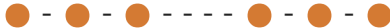
- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が95%以上のとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が31%以上のとき
 (約6秒間緑色点灯)
- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が94%～1%のとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が30%～1%のとき
 (約6秒間オレンジ色点灯)
- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が1%未満のとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が1%未満のとき
 ----- (消灯)

ヘッドセットを充電ケースから取り出したとき、充電ケースにセットしたときに、充電式電池の残量により以下のように表示されます。

- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が95%以上のとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が31%以上のとき
 (約3秒間緑色点灯)
- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が94%～1%のとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が30%～1%のとき
 (約3秒間オレンジ色点灯)
- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が1%未満のとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が1%未満のとき
 ----- (消灯)

充電の状態

- ヘッドセット充電中／充電ケース充電中
 (オレンジ色点灯)
- ヘッドセット／充電ケースの充電開始時に満充電だったとき
 ----- (約1分間オレンジ色点灯後、消灯)
- 満充電になり充電が完了したとき
 ----- (消灯)
- 充電中に充電ケースのふたを開閉したとき／ヘッドセットを充電ケースにセットしたり取り出したりしたとき
 -----  (約0.5秒間消灯後、オレンジ色点灯)
- 温度異常
 -  -----  -  -----  -  ----- (2回ずつオレンジ色点滅を繰り返す)

- 充電時に異常があり、充電できていないとき
 (遅いオレンジ色点滅を繰り返す)
- ヘッドセットのL側／R側の組み合わせ異常
 (3回ずつオレンジ色点滅を繰り返す)

Bluetooth接続状態

- 機器登録（ペアリング）モード
 (2回ずつ遅い青色点滅を繰り返す)
- 接続完了
 (約5秒間遅い青色点滅を繰り返す)

その他

- 初期化完了
 (4回緑色点滅)
詳しくは、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ヒント

- ヘッドセット装着時の動作状態は、音声ガイダンスで確認できます。

関連項目

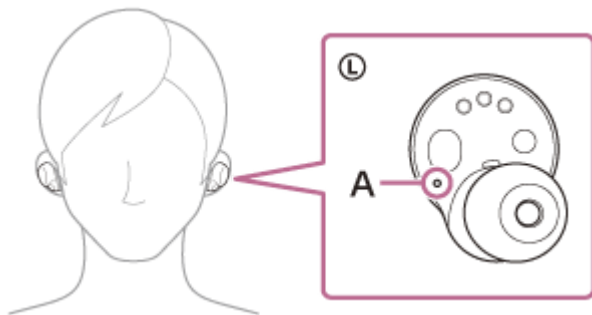
- [充電する](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [電話・ファックスで問い合わせる](#)
- [音声ガイダンスについて](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

ヘッドセットを装着する

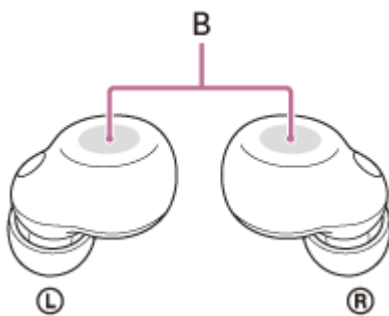
1 ヘッドセットを耳に装着する。

① (左) マーク表示のあるほうを左耳に、 ② (右) マーク表示のあるほうを右耳に装着します。L側には凸点(突起)がついています。



A: 凸点 (突起)

ヘッドセットを耳に装着するときは、タッチセンサーに触れないように注意してください。



B: タッチセンサー (左、右)

2 ヘッドセットが耳にフィットするように調整する。

ヘッドセットを回転させながら、イヤープースが最も耳穴の奥に入るようにしてください。



ヒント

- ヘッドセットを装着するときや、装着位置を調整するときのヘッドセットの持ち方は手順 2 のイラストを参照してください。

正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話品質などを発揮するために

イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていないかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。

その場合は、以下をお試してください。

- より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。イヤーピースを交換するときは、大きめのイヤーピースからお試してください。左右のイヤーピースのサイズが異なる場合もあります。
- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能を最大限に発揮するために最適なイヤーピースを測定することができます。
- 手順 ② を参照して、ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。

ヘッドセットを装着したり取り外したりすると

お買い上げ時の設定では、ヘッドセットを耳に装着したり耳から取り外したりすると、ヘッドセットに内蔵されたIRセンサーがそれを感知して、再生の一時停止や再開をしたり、タッチセンサーや音声ガイダンスを制御したりします。

ヘッドセットを装着すると

- タッチセンサーで音楽再生や通話などの操作ができます。
- 操作や状態に応じた音声ガイダンスが流れます。

ヘッドセットを取り外すと

- ヘッドセットを両耳に装着して音楽を再生しているときに、片側または両側のヘッドセットを取り外すと音楽の再生を一時停止します。もう一度耳に装着すると再生を再開します。
- 電池を節約するため、ヘッドセットを充電ケースから取り出して耳に装着しない状態が約15分間続くと、自動的に電源が切れます。タッチセンサーをタップするか、ヘッドセットを耳に装着すると電源が入ります。
- 誤動作を防止するため、耳に装着されていないヘッドセットのタッチセンサーをタップしても再生や通話などの操作はできません。

ヒント

- 片側のヘッドセットだけを耳に装着して音楽を再生したり通話したりすることもできます。
- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、音楽の再生を自動的に一時停止したり再開したりする設定や、自動的にヘッドセットの電源を切ったりする設定を変更できます。

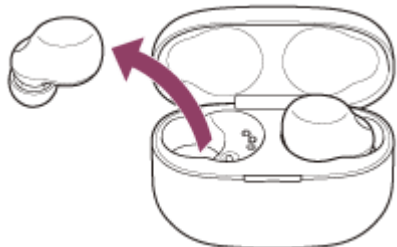
関連項目

- [イヤーピースを交換する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

片側のヘッドセットだけを使う

充電ケースから片側だけを取り出して使うことができます。
この場合、取り出した側のヘッドセットだけに電源が入ります。



もう片側のヘッドセットを装着すると

自動的に左右のヘッドセットが接続され、両側から音楽や通話の音声聞こえます。

タッチセンサーへの機能の割り当てについて

装着する側によっては、出荷時の設定では操作できない機能があります。この場合、“Sony | Headphones Connect”アプリを使ってタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。

ヒント

- お買い上げ時はR側に音楽再生機能が設定されています。
片耳で音楽を聞く際、R側だけを耳に装着している場合は、R側のタッチセンサーで音楽再生の操作ができます。
L側だけを耳に装着している場合は、接続機器側で音楽再生の操作をしてください。
- 音楽などのステレオ音声を片側だけで聞く場合、左右のチャンネルを合成した音声聞こえます。
- 片側のヘッドセットだけを耳に装着している場合でも通話ができます。着信したら、装着している側のヘッドセットを操作して電話を受けます。片側のヘッドセットで通話中にもう片側のヘッドセットを耳に装着すると、両耳で通話できます。

ご注意

- “Sony | Headphones Connect”アプリでサービスとの連携をオンに設定している場合は、R側のヘッドセットを使用してください。L側のみでの使用はできません。
- タッチセンサーへの機能割り当てや音声アシスタントの設定によっては、片側のみで使用できないことがあります。以下に従い、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を確認してください。

音声アシスタントの設定	仕様
【モバイル機器の音声アシスト機能】に設定	L側、R側、どちらでも片側のみで使用可能です。
【Google アシスタント】または【Amazon Alexa】に設定	タッチセンサーへの機能割り当てが【再生コントロール】になっている側のみ使用可能です。 使用したいヘッドセット側のタッチセンサーへの機能割り当てを【再生コントロール】に設定してください。 お買い上げ時はR側に【再生コントロール】が設定されています。 左右両方に【再生コントロール】を割り当てている場合は、R側のみ使用できます。
【使用しない】に設定	L側、R側、どちらでも片側のみで使用可能です。

関連項目

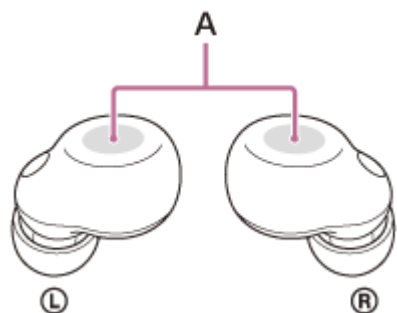
- [音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)
- [通話時にできること](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

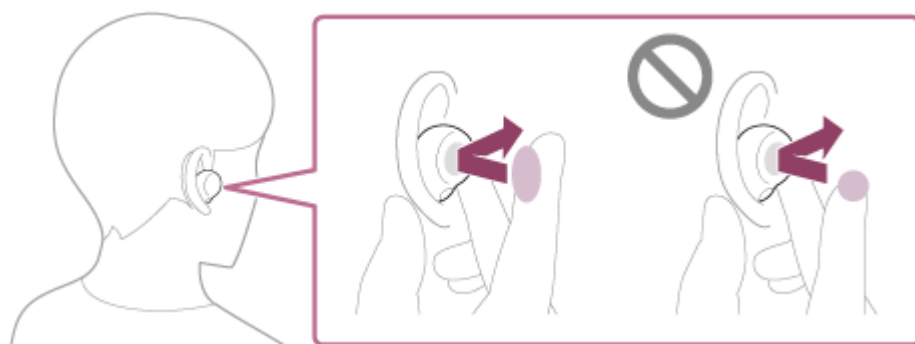
タッチセンサーについて

ヘッドセットのタッチセンサーをタップして、再生や通話、ノイズキャンセリング機能の切り替えなど、さまざまな操作ができます。



A：タッチセンサー（左、右）

タッチセンサーをタップするときは、タッチセンサー中央部を人差し指の腹を使ってタップしてください。



主な操作

	L側	R側
タップする	ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の切り替え	再生／一時停止
2回タップする	受話／終話	次の曲の頭出し 受話／終話
3回タップする	—	前（再生中）の曲の頭出し
4回以上タップする	音量を下げる	音量を上げる
触れたままにする	クイックアテンションモードを使用する	音声アシスト機能（Googleアプリ／Siri）の起動／解除

ヒント

- タッチセンサーを2回または3回タップするときは、約0.3秒の間隔でタップを繰り返します。

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。たとえば、お買い上げ時はR側のタッチセンサーで可能な再生の操作をL側のタッチセンサーでできるように設定できます。また、音楽再生機能やノイズキャンセリング機能、外音取り込み機能、音楽再生時の音量調節機能などを割り当てない設定もできます。

ご注意

- ヘッドセットを耳に装着しないと、タッチセンサーは操作できません。“Sony | Headphones Connect”アプリで装着検出による自動電源オフ機能を無効にすると、ヘッドセットを耳に装着していない状態でもタッチセンサーを操作できます。
- スマートフォンでGoogle アシスタントの初期設定を行った場合、タッチセンサーへの機能の割り当てが自動的に変更されることがあります。
“Sony | Headphones Connect”アプリ上でタッチセンサーへの機能の割り当てをご確認ください。
- スマートフォンでAmazon Alexaの初期設定を行った場合、タッチセンサーへの機能の割り当てが自動的に変更されることがあります。
“Sony | Headphones Connect”アプリ上でタッチセンサーへの機能の割り当てをご確認ください。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)
- [通話時にできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

Quick Access（クイックアクセス）を使う

Quick Accessは、ヘッドセットのタッチセンサーをタップするだけで、対応するアプリでコンテンツを再生することができる機能です。

- 1 ヘッドセットを耳に装着して、スマートフォンとBluetooth接続する。
- 2 “Sony | Headphones Connect”アプリを起動し、Quick Accessに連携したいサービスを割り当てる。
“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/
- 3 Quick Accessに割り当てたサービスのアプリを起動する。
- 4 L側のタッチセンサーをタップして、Quick Accessを使う。
 - 2回タップする：Quick Access
 - 3回タップする：Quick Access

ヒント

- Quick Accessは、タッチセンサーにノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の切り替えの機能を割り当てている側のヘッドセットで使用できます。お買い上げ時はL側に設定されています。“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。
- Quick Accessを使うには、対応するスマートフォンアプリのインストールとインターネット接続が必要です。アプリによってはサインインが必要です。
- 最新のQuick Accessの仕様について詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリの［サービス］タブをご確認ください。
- Quick Accessは2回タップと3回タップに同じサービスを割り当てることもできます。
- タッチセンサーをタップしても、対応するアプリが起動していないときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から音声ガイダンス「Quick Accessに割り当てたアプリが起動していません」が流れます。

ご注意

- 国や地域によってQuick Accessに割り当てることができるサービスが異なります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [サービスとの連携でできること](#)

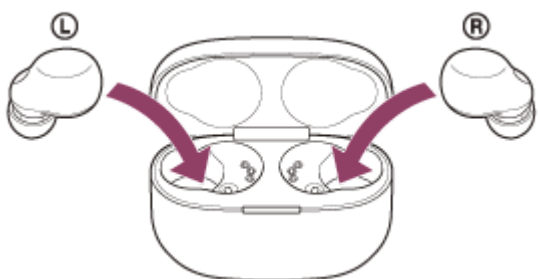
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

充電する

ヘッドセットと充電ケースは充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。付属のUSB Type-Cケーブルを使って充電してからお使いください。

1 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

L側（凸点のついた側）のヘッドセットを充電ケースの左側のくぼみに、R側を右側のくぼみに戻します。充電ケースに内蔵された磁石により、ヘッドセットは充電ケースの正しい位置に収まります。

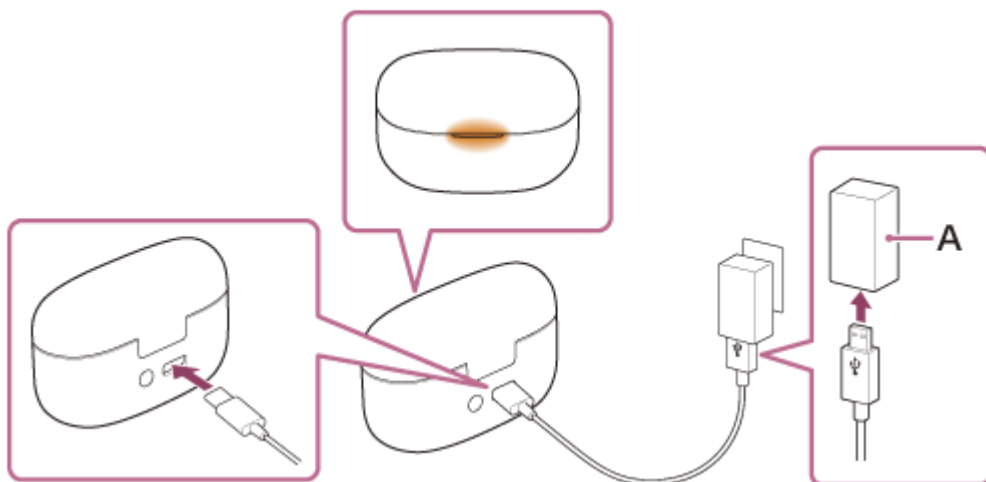


充電ケースの充電式電池に十分な残量がある場合は、充電ケースのランプ（オレンジまたは緑）が約3秒間点灯します。

ヘッドセットの充電が始まります。充電ケースのふたを閉めてください。

2 充電ケースを電源コンセントにつなぐ。

付属のUSB Type-Cケーブルと別売のUSB ACアダプター（推奨：AC-UD20）を使用します。



A : USB ACアダプター

ヘッドセットと充電ケースの充電を開始します。充電ケースのランプ（オレンジ）が点灯します。充電が完了すると、充電ケースのランプが消灯します。

USB Type-Cケーブルを外してください。

充電時間について

ヘッドセットと充電ケースの満充電に要する時間は、約3時間（*）です。

* 充電式電池の残量がない状態から、満充電するのにかかる時間です。充電時間は使用条件により変わる場合があります。

外出先でヘッドセットを充電する

充電ケースには充電式電池が内蔵されています。充電ケースを充電しておくと、外出先などで電源がない場合もヘッドセットを充電できます。

ヘッドセットL側／R側の満充電に要する時間は、約2時間です。

USB充電の推奨環境

推奨のUSB ACアダプター

AC-UD20（別売）

市販のUSB ACアダプター

出力電流0.5 A（500 mA）以上が供給可能な市販のUSB ACアダプター

パソコン

USB端子が標準装備されたパソコン

- すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
- 自作パソコンは動作保証対象外です。

ヒント

- 付属のUSB Type-Cケーブルを使って充電ケースを起動中のパソコンに接続しても充電できます。

ご注意

- 必ず付属のUSB Type-Cケーブルを使用してください。充電できない場合があります。
- USB ACアダプターの機種によっては、充電できない場合があります。
- 各種機能の設定や使用条件により、L側とR側とで充電式電池の消費の速さが異なる場合があります。そのため、L側とR側の充電式電池の充電時間が異なる場合がありますが、異常ではありません。
- パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になると充電できなくなります。この場合はパソコンの設定を変更して、充電しなおしてください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットしたとき、充電ケースのランプ（オレンジ）が約3秒間点灯後消灯する場合は、充電ケースの充電式電池の残量が少なくなっています。充電ケースを充電してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットしても、充電ケースのランプが点灯しない場合は、充電ケースの充電式電池の残量がありません。充電ケースを充電してください。
- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。充電と放電を何度か繰り返すと、十分に充電できるようになります。長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
- 長い間使わなかったときは、充電時間が長くなる場合があります。
- 充電ケースのふたが開いていると充電ケースの充電式電池を消費しますので、充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。
- ヘッドセットや充電ケースの充電式電池に問題がある場合、充電中に異常を検知すると充電ケースのランプ（オレンジ）が点滅します。周囲の温度が15℃～35℃の範囲で充電することをおすすめします。この範囲を超えると、効率のよい充電ができないことがあります。それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- ヘッドセットを長期間お使いにならなかった後に充電を行った場合、充電ケースのランプ（オレンジ）がすぐに点灯しない場合があります。ランプ（オレンジ）が点灯するまでしばらくお待ちください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。ソニーの修理相談窓口にご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、霧、砂、ほこりや電氣的な衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- 充電ケースをパソコンと接続するときは付属のUSB Type-Cケーブルのみを使い、必ず直接つないでください。USBハブなどを経由して接続すると、正しく充電されません。
- 充電中や充電後しばらくは、ヘッドセットおよび充電ケースが温かくなることがありますが、異常ではありません。

関連項目

- [ランプ表示](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

使用可能時間

満充電時の使用可能時間は以下の通りです。

Bluetooth接続

連続音楽再生

コーデック	ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
LDAC™	ノイズキャンセリング機能：オン	最大3.5時間
LDAC	外音取り込み機能：オン	最大3.5時間
LDAC	オフ	最大4.5時間
AAC	ノイズキャンセリング機能：オン	最大6時間
AAC	外音取り込み機能：オン	最大6時間
AAC	オフ	最大9時間
SBC	ノイズキャンセリング機能：オン	最大6時間
SBC	外音取り込み機能：オン	最大6時間
SBC	オフ	最大9時間
LC3	ノイズキャンセリング機能：オン	最大5.5時間
LC3	外音取り込み機能：オン	最大5.5時間
LC3	オフ	最大9時間

- 充電5分間で、約1時間の音楽再生が可能です。
- 以下の設定を行うと、電池の使用可能時間が上記より短くなります。
 - － イコライザー
 - － DSEE Extreme™
 - － スピーク・トゥ・チャット
 - － 音声で音声アシスト機能を起動させる機能
 - － サービスとの連携

上記の設定を同時に行うと、電池の使用可能時間はさらに短くなります。

連続通話

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：オン	最大3.5時間
外音取り込み機能：オン	最大3.5時間
オフ	最大3.5時間

連続待ち受け

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：オン	最大8.5時間
外音取り込み機能：オン	最大8時間
オフ	最大16時間

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、接続しているコーデックの確認やDSEE Extremeの切り替えができません。

ご注意

- 各種機能の設定や使用条件により、上記と実際の時間が異なる場合があります。
- 各種機能の設定や使用条件により、L側とR側とで充電式電池の消費の速さが異なる場合がありますが、異常ではありません。

関連項目

- [対応コーデックについて](#)
- [DSEE Extremeについて](#)
- [ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

充電式電池の残量を確認する

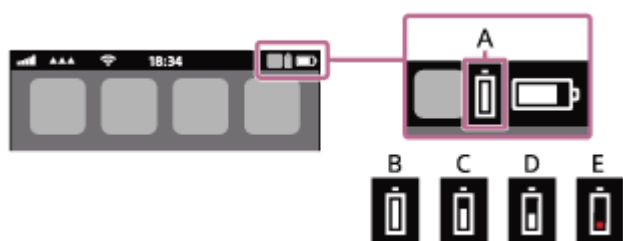
ヘッドセットと充電ケースの充電式電池の残量は、以下の方法で確認できます。

ヘッドセットを装着したとき、またはヘッドセットを使用中に充電式電池の残量が少なくなると

警告音が鳴って音声ガイダンス「バッテリーが少なくなりました」が流れたら、早めに充電してください。
残量が完全になると、警告音が鳴り、音声ガイダンス「バッテリーがなくなりました」が流れて、ヘッドセットの電源が自動的に切れます。

iPhone/iPod touchをお使いの場合

iPhone/iPod touchとHFP（Hands-free Profile）でBluetooth接続している間は、iPhone/iPod touchの画面にヘッドセットの充電式電池の残量を示すアイコンが表示されます。
表示位置は一例です。



A : ヘッドセットの充電式電池の残量

大まかな残量を10段階で表示します。B～Eは表示例です。

B : 100%

C : 70%

D : 50%

E : 10%以下（要充電）

iOS 11以降の場合は、iPhone/iPod touchのウィジェットにもヘッドセットの充電式電池の残量が表示されます。詳しくは、iPhone/iPod touchの取扱説明書をご覧ください。

なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

Android™搭載スマートフォン（OS 8.1以降）をお使いの場合

Android搭載スマートフォンとHFPでBluetooth接続している場合、[設定] - [機器接続] - [Bluetooth] を選ぶと、接続済みのBluetooth機器表示のところに、ヘッドセットの充電式電池の残量が「100%」、「70%」、「50%」、「10%」のように10段階で表示されます。

上記の操作は一例です。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

充電ケースの充電式電池の残量を確認する

- ヘッドセットを充電ケースから取り出したとき、あるいは充電ケースにヘッドセットが入っていない状態で充電ケースのふたを開閉したときに、充電ケースのランプ（オレンジ）が点灯する場合は、充電ケースの充電式電池の残量は約30%～1%です。この場合、ヘッドセットを十分に充電することができません。
- ヘッドセットを充電ケースから取り出したとき、あるいは充電ケースにヘッドセットが入っていない状態で充電ケースのふたを開閉したときに、充電ケースのランプが点灯しない場合は、充電ケースの充電式電池の残量は1%未満です。この場合、充電ケースでヘッドセットを充電することはできません。

ヒント

- ヘッドセットの充電式電池の残量は、使いかたによっては、L側とR側で異なる場合があります。両側のヘッドセットをお使いのときは、残量が少ない方の充電式電池の残量が表示されます。片側のヘッドセットだけをお使いの場合は、使用している側の充電式電池の残量が表示されます。
- ヘッドセットと充電ケースの充電式電池の残量は“Sony | Headphones Connect”アプリ上でも確認できます。Android搭載スマートフォン、iPhone/iPod touchとも対応しています。

ご注意

- スマートフォンとHFPで接続されていないと、充電式電池の残量が正常に表示されません。
- マルチポイント接続でiPhone/iPod touchまたはAndroid搭載スマートフォンを音楽用（A2DP）のみの接続にすると、充電式電池の残量が正常に表示されません。
- 長い間使わなかったときや、ソフトウェアアップデートの直後などは、充電式電池の残量が正しく表示されないことがあります。この場合は、充電と放電を何度か繰り返すと正しく表示されます。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [ランプ表示](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

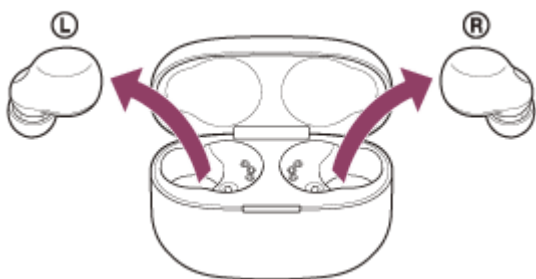
ヘッドセットの電源を入れる

充電ケースにセットされているとき

1 充電ケースからヘッドセットを取り出す。

自動的に電源が入ります。

片側だけを取り出すと、取り出したヘッドセットだけに電源が入ります。



充電ケースにセットされていないとき

充電ケースからヘッドセットを取り出して耳に装着しない状態が約15分間続くと、自動的に電源が切れます。この場合は、ヘッドセットのタッチセンサーをタップするか、ヘッドセットを耳に装着すると電源が入ります。ヘッドセットを充電ケースに一度セットしてから取り出しても電源が入ります。

“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ヘッドセットの電源が自動的に切れないように設定を変更できます。

電源が入ると

充電ケースから両側のヘッドセットを取り出すと、L側とR側のヘッドセットが接続されます。

お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、ヘッドセットを両耳に装着すると、自動的にBluetooth機器登録（ペアリング）モードになります。

お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、ヘッドセットを耳に装着すると、自動的にノイズキャンセリング機能がオンになります。前回使用時にノイズキャンセリング機能の設定を変更していた場合、その設定が保持されます。

関連項目

- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [ヘッドセットの電源を切る](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

ヘッドセットの電源を切る

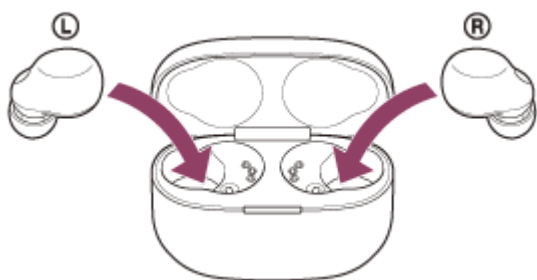
1 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

L側（凸点のついた側）のヘッドセットを充電ケースの左側のくぼみに、R側を右側のくぼみに戻します。充電ケースに内蔵された磁石により、ヘッドセットは充電ケースの正しい位置に収まります。

ヘッドセットが充電ケースにセットされると、自動的にヘッドセットの電源が切れます。

充電ケースの充電式電池に十分な残量がある場合は、充電ケースのランプ（オレンジまたは緑）が約3秒間点灯します。

ヘッドセットの充電が始まります。充電ケースのふたを閉めてください。



ヘッドセットを取り出したままにしておく

充電ケースからヘッドセットを取り出して耳に装着しない状態が約15分間続くと、自動的に電源が切れます。その前に電源を切るには、ヘッドセットを充電ケースにセットします。

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリからヘッドセットの電源を切ることもできます。

ご注意

- 充電ケースの充電式電池に十分な残量がない場合は、ヘッドセットの充電が始まりません。充電ケースを充電してください。

関連項目

- [充電する](#)
- [ヘッドセットの電源を入れる](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

Bluetooth接続するには

Bluetooth機器に搭載されたBluetooth機能を使って音楽や通話をワイヤレスで楽しめます。

機器登録（ペアリング）

Bluetooth機能を使うには、あらかじめ、接続する互いの機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。

ヘッドセットと機器を操作してペアリングを行ってください。

ペアリング済みの機器と接続する

一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありません。すでにヘッドセットとのペアリングが済んでいる機器それぞれの方法で接続してください。

ヒント

- LE Audio機能を楽しむ場合、ヘッドセットの設定を変更し、ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンとペアリングし直す必要があります。詳しくは、「[Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する](#)」をご覧ください。

関連項目

- [Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 10）](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）](#)
- [Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

“Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続する

お使いのAndroid搭載スマートフォン/iPhoneで“Sony | Headphones Connect”アプリを起動して、ヘッドセットとスマートフォンやiPhoneを接続できます。詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリのヘルプガイドをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/



Sony Headphones Connect



ご注意

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続したときに、一部のスマートフォンやiPhoneで接続が不安定になる場合があります。その場合は「[機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)」「[機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)」の手順に従って接続してください。

関連項目

- [機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)
- [Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとAndroid搭載スマートフォンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

1. 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



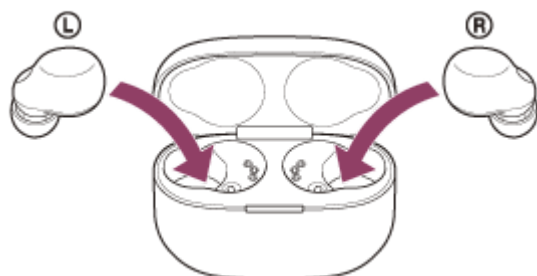
自動的に電源が入ります。

ヘッドセットを両耳に装着すると、自動的にペアリングモードになります。

両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

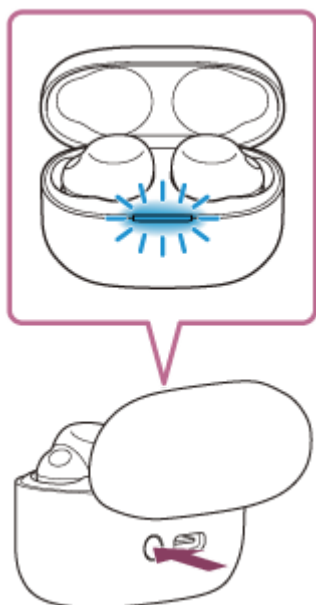
2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。
充電ケースのふたは開けたままにしてください。



2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

注：充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつゆっくり点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。ヘッドセットを両耳に装着すると、両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

2 Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

3 Android搭載スマートフォンでヘッドセットを検索する。

1. 「設定」から「機器接続」の「Bluetooth」を選ぶ。



2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



4 「LinkBuds S」をタッチする。



パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとスマートフォンが接続された状態になります。

ヘッドセットを充電ケースにセットしている場合は、充電ケースのランプ（青）が約5秒間ゆっくり点滅します。

ヘッドセットを耳に装着している場合は、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)」をご覧ください。

Android搭載スマートフォンの画面に「LinkBuds S」が表示されない場合は、もう一度手順 ③ の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

取扱説明動画について

初めてペアリングする手順は、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0044/ja/>

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順 ① から操作を行ってください。
 - 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたときヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
- すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する

LE AudioはBluetooth技術の音声通信規格です。

Android搭載スマートフォンとヘッドセットの両方がLE Audioに対応している必要があります。

LE Audio対応機器

最新の対応機種情報は、サポートホームページをご覧ください。

LE Audioについて

- LE Audioはコーデック「LC3」に対応しています。LE Audioで接続すると、Android搭載スマートフォンからの音の遅延を抑えて音声を楽しむことができます。
- LE Audioで接続しているときは、ヘッドセットの機能の一部が使えなくなります。詳しくは、「[“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)」をご覧ください。

1 Android搭載スマートフォンに“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールし、ヘッドセットとBluetooth接続する。

Bluetooth接続の方法については、「[“Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続する](#)」または「[Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)」をご覧ください。

2 “Sony | Headphones Connect”アプリを起動して、[ヘッドホンのLE Audio接続設定] から [LE Audio優先] を選ぶ。

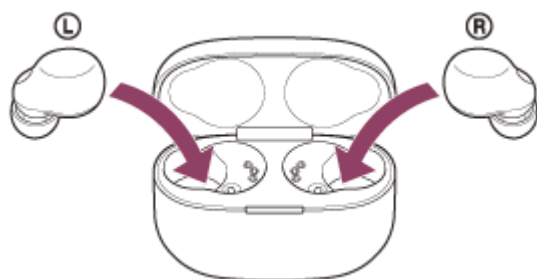
詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリのヘルプガイドをご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

3 Android搭載スマートフォンを使って、ペアリング情報（Classic Audio接続の履歴）を削除する。

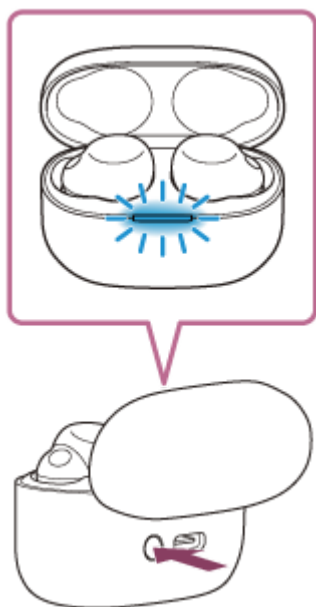
- [設定] から [機器接続] の [Bluetooth] を選ぶ。
- [ペアリングされた機器] から [LinkBuds S] を選んで削除する。

4 充電ケースを操作してヘッドセットをペアリングモードにする。

- ヘッドセットを充電ケースにセットする。
充電ケースのふたは開けたままにしてください。



- 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。
注：充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつゆっくり点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。ヘッドセットを両耳に装着すると、両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

5 Android搭載スマートフォンでヘッドセットを検索する。

1. [設定] から [機器接続] を選び、Bluetooth設定の画面を開く。
2. [新しい機器とペア設定する] を選ぶ。
3. [使用可能なデバイス] から、[LinkBuds S] を選ぶ。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとスマートフォンが接続された状態になります。ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプ（青）が10回点滅します。ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

6 Android搭載スマートフォンでLE Audioの設定を確認する。

1. 接続中の [LinkBuds S] の横に表示されている （設定）をタッチする。
2. [LE Audio] がオンになっているか確認する。
オフになっている場合はスイッチボタンをタッチして [LE Audio] をオンにしてください。

7 LE Audioの接続を確認する。

“Sony | Headphones Connect”アプリの画面で、ヘッドセット名の下に [LE Audio] が表示されていることを確認してください。

LE Audioを終了するには

Android搭載スマートフォンとClassic Audioで接続し直します。

“Sony | Headphones Connect”アプリを起動して、[ヘッドホンのLE Audio接続設定] から [Classic Audio専用（従来の接続方式）] を選んでください。

接続設定変更後に接続が成功しない場合は、ペアリング情報を一度削除してからペアリングし直してください。

“Sony | Headphones Connect”アプリで、[Classic Audio専用（従来の接続方式）] に切り替えられない場合は、ヘッドセットを初期化してください。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続する](#)
- [Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [サポートホームページで調べる](#)
- [初期化する](#)

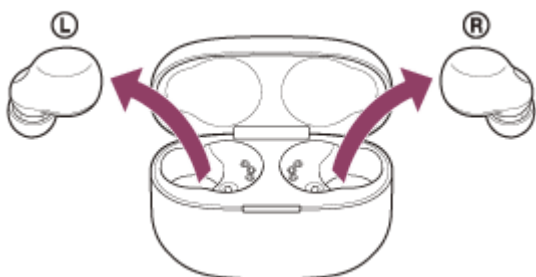
5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する

- ① Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

- ② 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

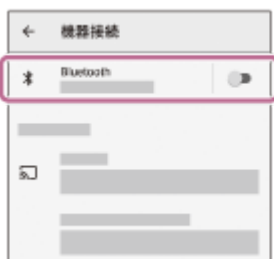
- ③ ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

Android搭載スマートフォンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 ④ に進んでください。

- ④ Android搭載スマートフォンにペアリング済みの機器を表示する。

1. 「設定」の「機器接続」から「Bluetooth」を選ぶ。



2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



- ⑤ 「LinkBuds S」をタッチする。



両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [LinkBuds S] [LE_LinkBuds S] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または [LinkBuds S] が表示される場合は [LinkBuds S] を、[LE_LinkBuds S] が表示される場合は [LE_LinkBuds S] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入ただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- スマートフォンと接続できなくなった場合は、スマートフォンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。スマートフォンの操作については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

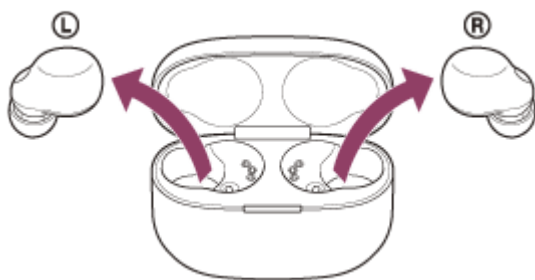
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとiPhoneが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するiPhoneの取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

1. 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



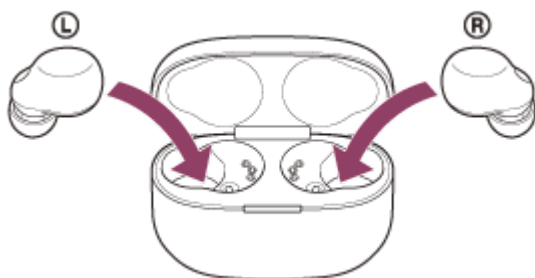
自動的に電源が入ります。

ヘッドセットを両耳に装着すると、自動的にペアリングモードになります。

両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

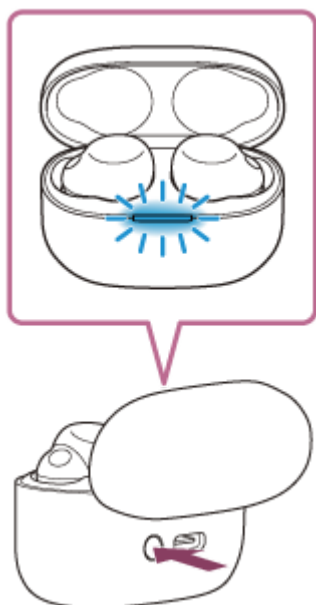
2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。
充電ケースのふたは開けたままにしてください。



2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

注：充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつゆっくり点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。ヘッドセットを両耳に装着すると、両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

2 iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

3 iPhoneでヘッドセットを検索する。

1. 「設定」を選ぶ。
2. 「Bluetooth」をタッチする。



3. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



4 「LinkBuds S」をタッチする。



パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとiPhoneが接続された状態になります。

ヘッドセットを充電ケースにセットしている場合は、充電ケースのランプ（青）が約5秒間ゆっくり点滅します。

ヘッドセットを耳に装着している場合は、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)」をご覧ください。

iPhoneの画面に「LinkBuds S」が表示されない場合は、もう一度手順 **3** の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

取扱説明動画について

初めてペアリングする手順は、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0044/ja/>

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順 **1** から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
 - － 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - － 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - － 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - － ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

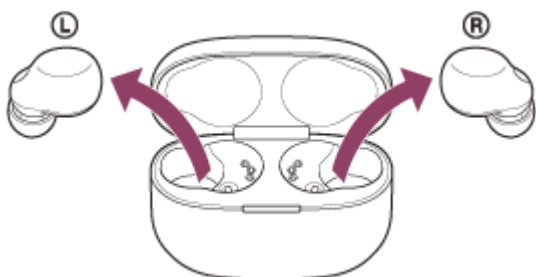
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する

1 iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

2 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

3 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

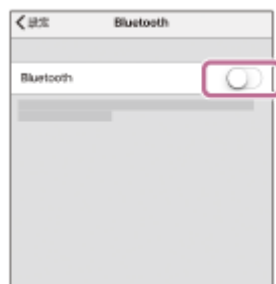
iPhoneで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 4 に進んでください。

4 iPhoneにペアリング済みの機器を表示する。

1. 「設定」を選ぶ。
2. 「Bluetooth」をタッチする。



3. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



5 「LinkBuds S」をタッチする。



両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [LinkBuds S] [LE_LinkBuds S] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または [LinkBuds S] が表示される場合は [LinkBuds S] を、[LE_LinkBuds S] が表示される場合は [LE_LinkBuds S] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- iPhoneと接続できなくなった場合は、iPhoneでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。iPhoneの操作については、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとウォークマン®が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するウォークマン®の取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

1. 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



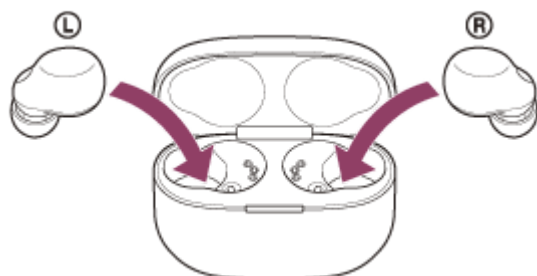
自動的に電源が入ります。

ヘッドセットを両耳に装着すると、自動的にペアリングモードになります。

両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

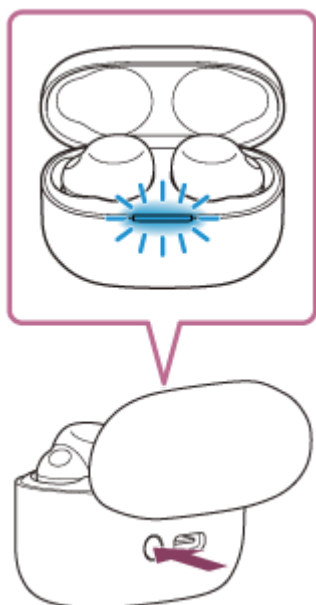
2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。
充電ケースのふたは開けたままにしてください。



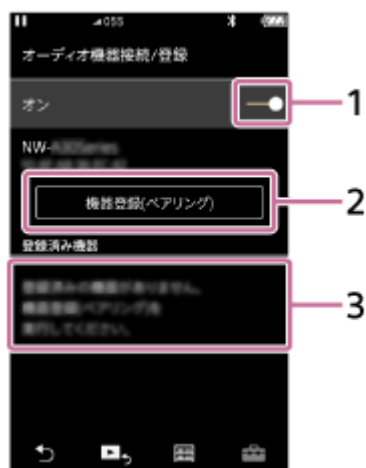
2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

注：充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつゆっくり点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。ヘッドセットを両耳に装着すると、両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

- 2 ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。
- 3 ライブラリ画面から [ （オプション／設定）] - [ 設定] - [Bluetooth] - [オーディオ機器接続／登録] の順に選ぶ。
- 4 (1) [オン] になっていることを確認し、(2) [機器登録（ペアリング）] を選んでから、(3) [LinkBuds S] を選ぶ。



パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとウォークマン®が接続された状態になります。
ヘッドセットを充電ケースにセットしている場合は、充電ケースのランプ（青）が約5秒間ゆっくり点滅します。
ヘッドセットを耳に装着している場合は、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。
接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する](#)」をご覧ください。
ウォークマン®の画面に [LinkBuds S] が表示されない場合は、もう一度手順 ③ から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順 ① から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合にはもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとウォークマン®が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するウォークマン®の取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

1. 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



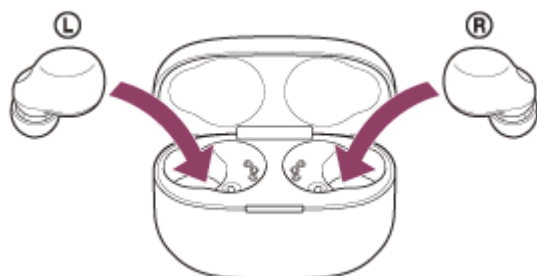
自動的に電源が入ります。

ヘッドセットを両耳に装着すると、自動的にペアリングモードになります。

両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

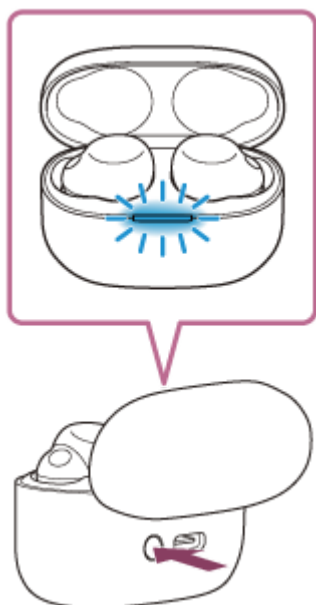
2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。
充電ケースのふたは開けたままにしてください。



2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

注：充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつゆっくり点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。ヘッドセットを両耳に装着すると、両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

2 ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

3 ウォークマン®でヘッドセットを検索する。

1. [ 設定] - [接続済みの端末] - [新しいデバイスとペア設定する] を選ぶ。



4 [LinkBuds S] をタッチして、[ペア設定する] を選ぶ。



パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとウォークマン®が接続された状態になります。

ヘッドセットを充電ケースにセットしている場合は、充電ケースのランプ（青）が約5秒間ゆっくり点滅します。

ヘッドセットを耳に装着している場合は、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）](#)」をご覧ください。

ウォークマン®の画面に [LinkBuds S] が表示されない場合は、もう一度手順 3 の初めから操作してください。

- * パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順 ❶ から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合にはもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

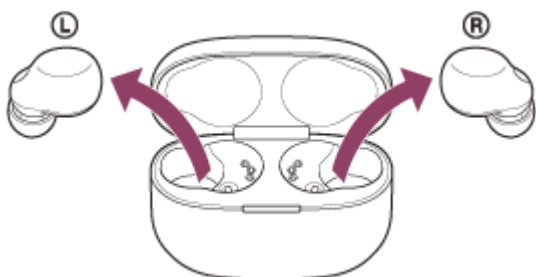
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する

- ① ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

- ② 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

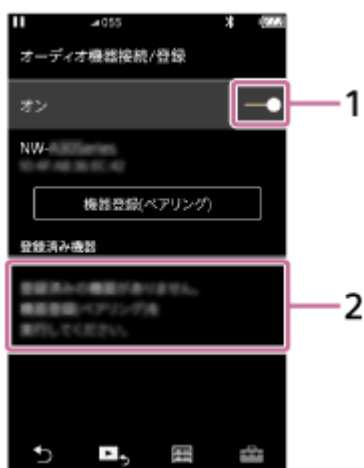
- ③ ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

ウォークマン®で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 ④ に進んでください。

- ④ ライブラリ画面から [ （オプション／設定）] - [ 設定] - [Bluetooth] - [オーディオ機器接続／登録] の順に選ぶ。

- ⑤ (1) [オン] になっていることを確認し、(2) [LinkBuds S] を選ぶ。



両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [LinkBuds S] [LE_LinkBuds S] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または [LinkBuds S] が表示される場合は [LinkBuds S] を、[LE_LinkBuds S] が表示される場合は [LE_LinkBuds S] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- ウォークマン®と接続できなくなった場合は、ウォークマン®でヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。ウォークマン®の操作については、ウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

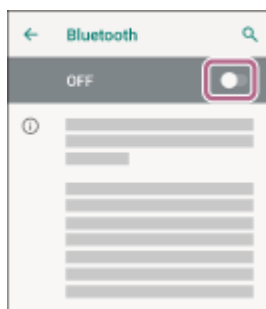
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）

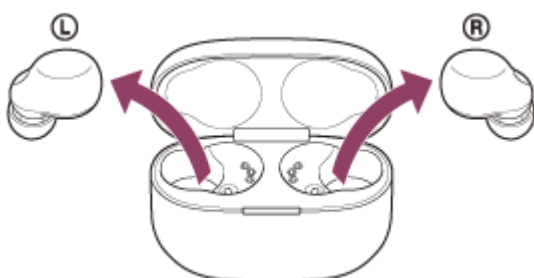
1 ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

2 ウォークマン®のBluetooth機能をオンにする。

1. [ 設定] - [接続済みの端末] - [接続の設定] - [Bluetooth] を選ぶ。
2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



3 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

4 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

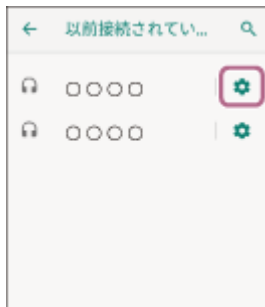
ウォークマン®で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 5 に進んでください。

5 ウォークマン®にペアリング済みの機器を表示する。

1. [ 設定] - [接続済みの端末] - [以前接続されていたデバイス] を選ぶ。



6 [LinkBuds S] の横にある （設定）アイコンをタッチして[接続]を選ぶ。



両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [LinkBuds S] [LE_LinkBuds S] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または [LinkBuds S] が表示される場合は [LinkBuds S] を、[LE_LinkBuds S] が表示される場合は [LE_LinkBuds S] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- ウォークマン®と接続できなくなった場合は、ウォークマン®でヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。ウォークマン®の操作については、ウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 10）

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

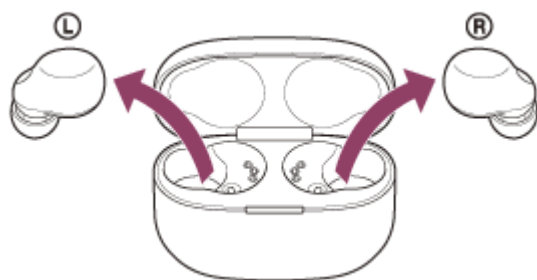
- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- お使いのOSのバージョンがWindows 10バージョン1803以降の場合、クイックペアリング機能を使ってかんたんにペアリングできます。クイックペアリング機能を使用する場合は、[スタート] ボタン - [設定] - [デバイス] - [Bluetoothとその他のデバイス] の順にクリックし、[クイック ペアリングを使用して接続するための通知を表示する] にチェックを入れてください。



1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

1. 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



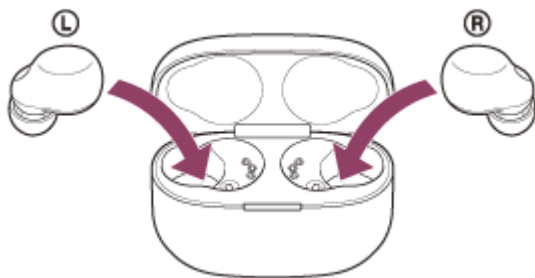
自動的に電源が入ります。

ヘッドセットを両耳に装着すると、自動的にペアリングモードになります。

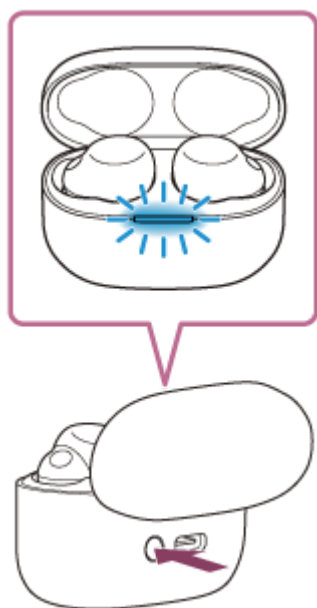
両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。
充電ケースのふたは開けたままにしてください。



2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。
注：充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



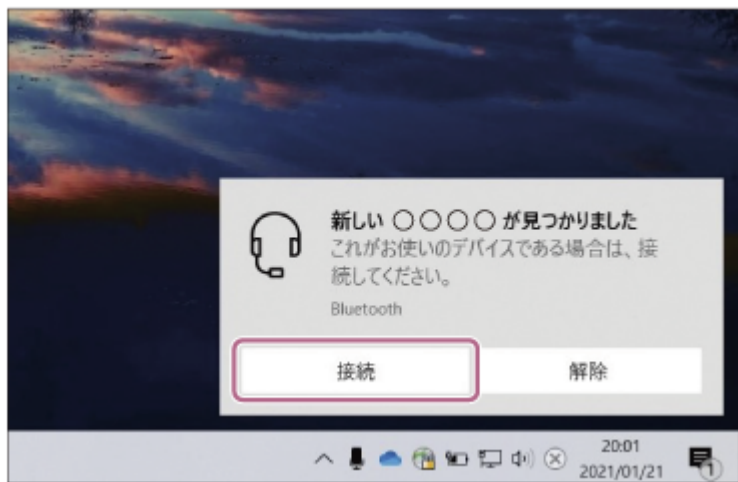
充電ケースのランプ（青）が2回ずつゆっくり点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。ヘッドセットを両耳に装着すると、両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

- 2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

- 3 パソコンでヘッドセットをペアリングする。

クイックペアリング機能を使用して接続する場合

1. パソコンの画面にポップアップメニューが表示されるので、【接続】を選ぶ。



クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合

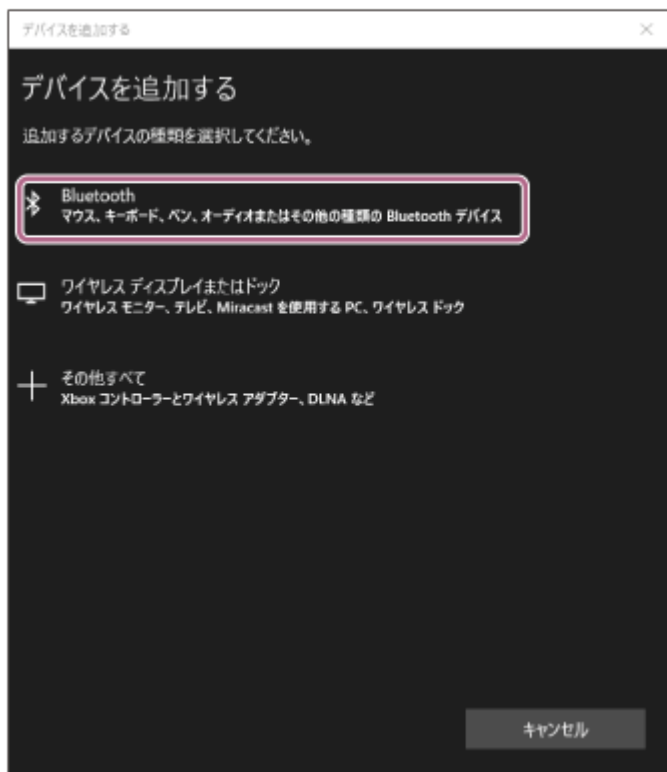
1. [スタート] ボタン - [設定] の順にクリックする。
2. [デバイス] をクリックする。



3. [Bluetoothとその他のデバイス] タブ - [Bluetooth] スwitchの順にクリックしてBluetooth機能をオンにし、[Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する] をクリックする。



4. [Bluetooth] をクリックする。



5. [LinkBuds S] をクリックする。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。

ヘッドセットを充電ケースにセットしている場合は、充電ケースのランプ（青）が約5秒間ゆっくり点滅します。

ヘッドセットを耳に装着している場合は、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)」をご覧ください。

パソコンの画面に [LinkBuds S] が表示されない場合は、もう一度手順 ③ の「クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合」から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順 ❶ から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

1. 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



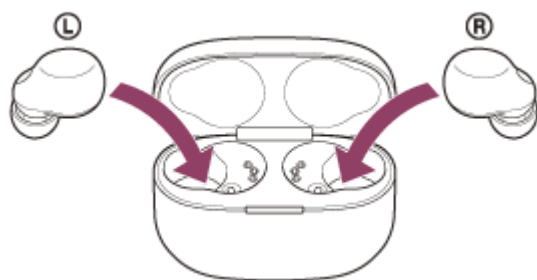
自動的に電源が入ります。

ヘッドセットを両耳に装着すると、自動的にペアリングモードになります。

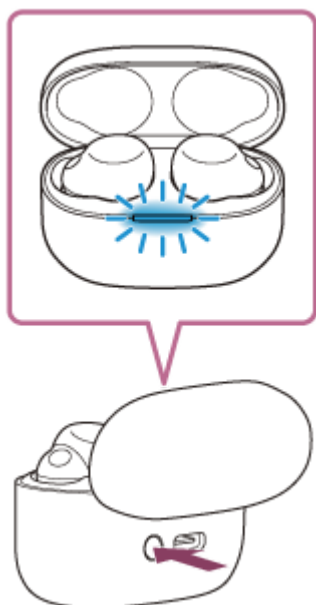
両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。
充電ケースのふたは開けたままにしてください。



2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。
注：充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。

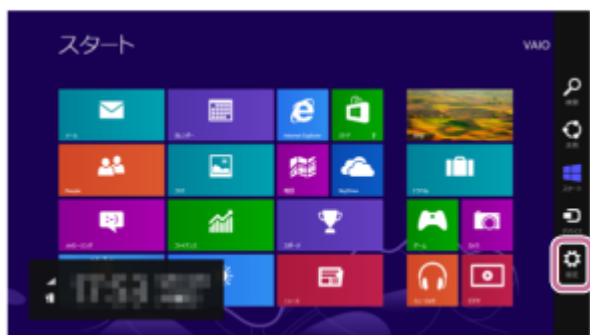


充電ケースのランプ（青）が2回ずつゆっくり点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。ヘッドセットを両耳に装着すると、両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

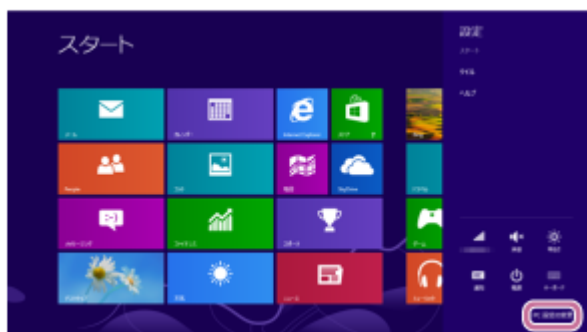
2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

3 パソコンでヘッドセットをペアリングする。

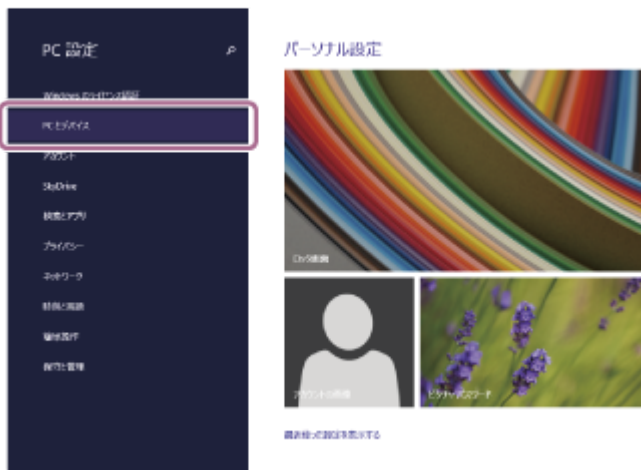
1. 画面の右上隅にマウスポインターを合わせて（タッチパネルの場合は画面の右端からスワイプして）、表示されたチャームから「設定」を選ぶ。



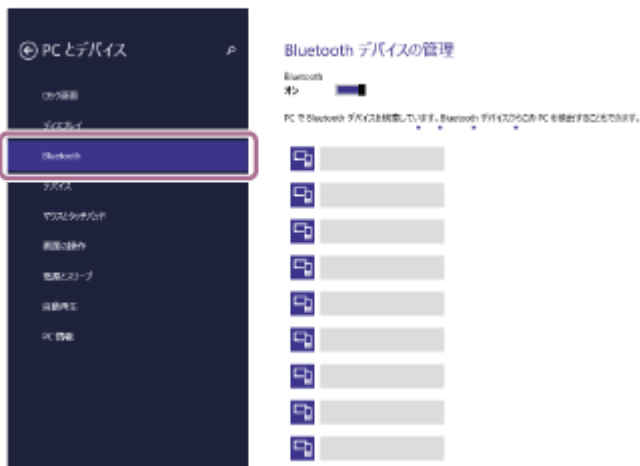
2. 「設定」チャームから「PC設定の変更」を選ぶ。



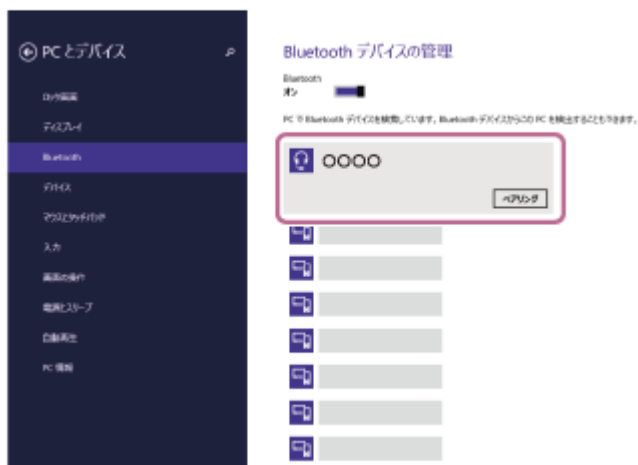
3. 「PC設定」画面から「PCとデバイス」を選ぶ。



4. [Bluetooth] を選ぶ。



5. [LinkBuds S] を選び、[ペアリング] を選ぶ。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。

ヘッドセットを充電ケースにセットしている場合は、充電ケースのランプ（青）が約5秒間ゆっくり点滅します。

ヘッドセットを耳に装着している場合は、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)」をご覧ください。

パソコンの画面に [LinkBuds S] が表示されない場合は、もう一度手順 ③ の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順 ❶ から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

対応OS

macOS（バージョン10.15以降）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
パソコンのスピーカーが  「消音（OFF）」モードになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。

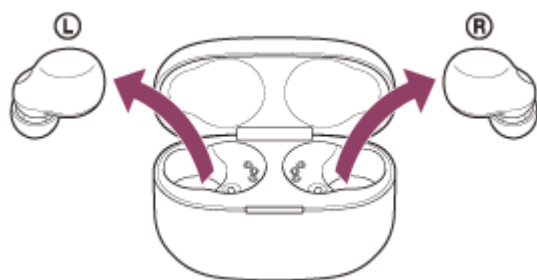
パソコンのスピーカーがONモードの状態



1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

1. 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



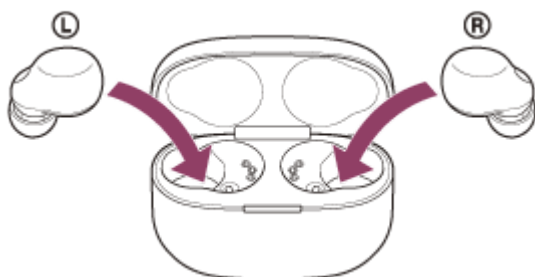
自動的に電源が入ります。

ヘッドセットを両耳に装着すると、自動的にペアリングモードになります。

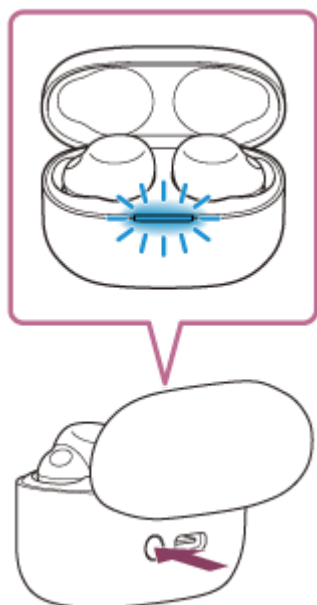
両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。
充電ケースのふたは開けたままにしてください。



2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。
注：充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつゆっくり点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。ヘッドセットを両耳に装着すると、両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

- 2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

- 3 パソコンでヘッドセットをペアリングする。

1. 画面下のDockで [ （システム環境設定）] - [Bluetooth] の順に選ぶ。



2. [Bluetooth] 画面から [LinkBuds S] を選び、[接続] をクリックする。



パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。

ヘッドセットを充電ケースにセットしている場合は、充電ケースのランプ（青）が約5秒間ゆっくり点滅します。

ヘッドセットを耳に装着している場合は、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）](#)」をご覧ください。

パソコンの画面に「LinkBuds S」が表示されない場合は、もう一度手順 ③ の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順 ① から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合にはもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

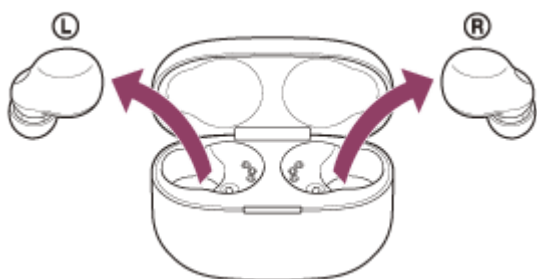
機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

① パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

② 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

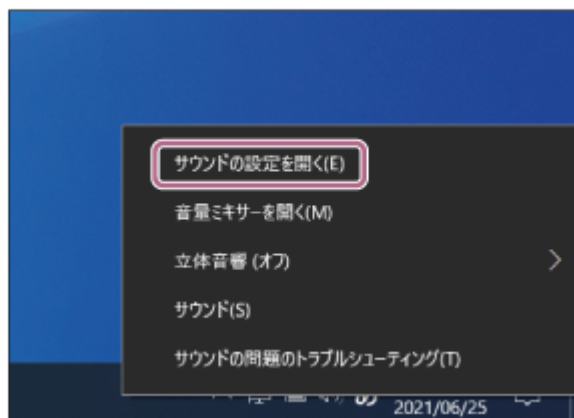
③ ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 ④ に進んでください。

④ パソコンでヘッドセットを選ぶ。

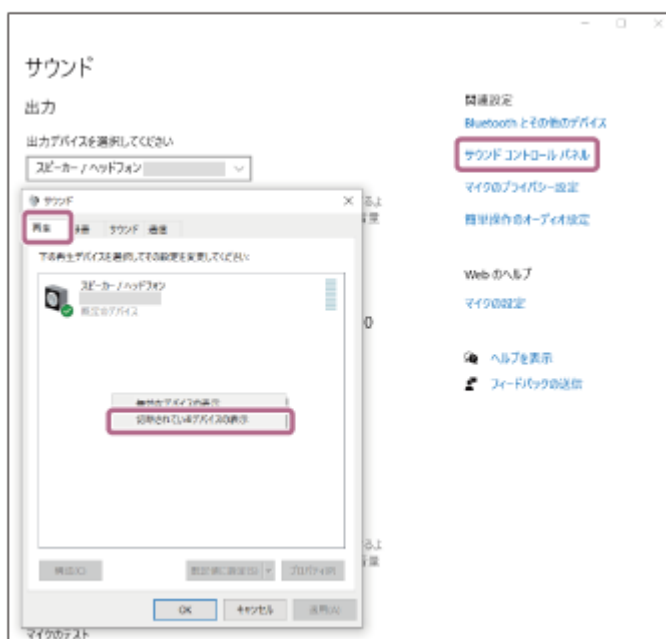
1. ツールバーのスピーカーアイコンを右クリックして「サウンドの設定を開く」を選ぶ。



2. 「出力デバイスを選択してください」のプルダウンメニューから「ヘッドホン（LinkBuds S Stereo）」を選ぶ。



プルダウンメニューに「ヘッドホン（LinkBuds S Stereo）」が表示されていない場合は、「サウンドコントロール パネル」をクリック後、「サウンド」の「再生」タブ画面上で右クリックし、「切断されているデバイスの表示」にチェックを入れてください。



3. 表示されたメニューから「接続」を選ぶ。



接続が完了します。両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよい場合、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 10）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

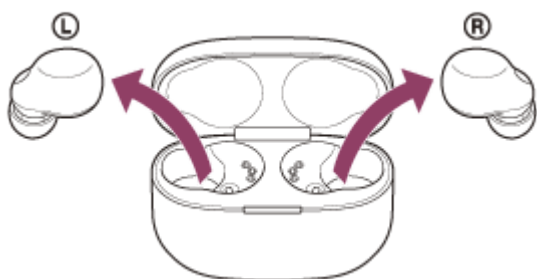
機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

① パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

② 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

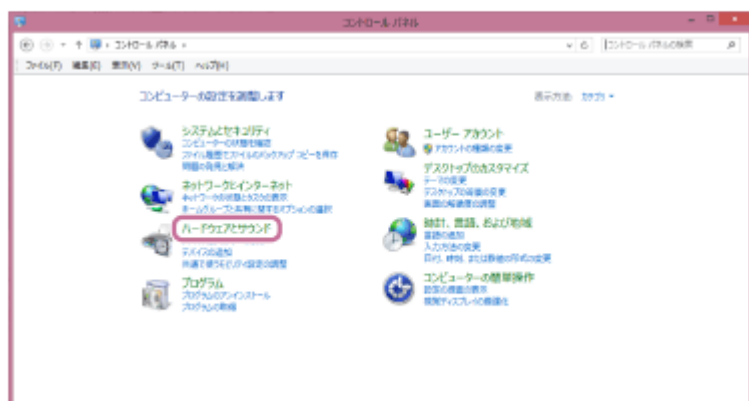
③ ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 ④ に進んでください。

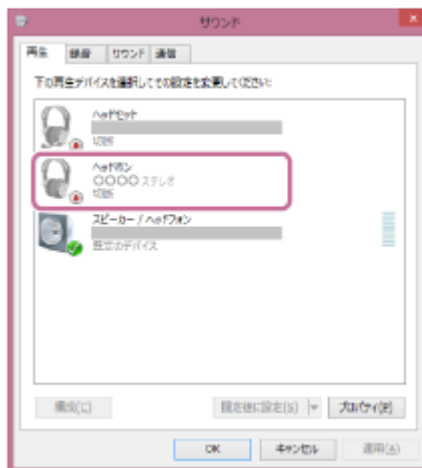
④ パソコンでヘッドセットを選ぶ。

1. スタート画面から、[デスクトップ] を選ぶ。
2. [スタート] ボタンを右クリックして、ポップアップメニューから [コントロールパネル] を選ぶ。
3. [ハードウェアとサウンド] - [サウンド] の順に選ぶ。

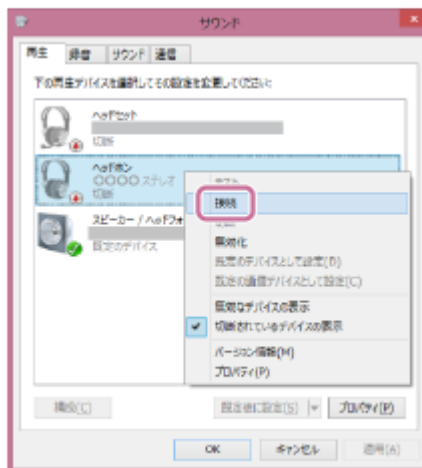




4. [LinkBuds S] を右クリックする。
[サウンド] 画面に [LinkBuds S] が表示されていない場合は、[サウンド] 画面上で右クリックし、[切断されているデバイスの表示] にチェックを入れてください。



5. 表示されたメニューから [接続] を選ぶ。



接続が完了します。両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよい場合、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）

対応OS

macOS（バージョン10.15以降）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

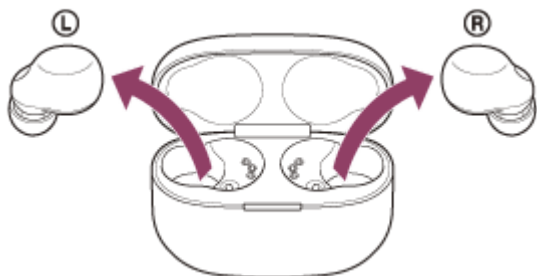
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
パソコンのスピーカーが ■ 「消音（OFF）」モードになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。

パソコンのスピーカーがONモードの状態



① パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

② 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

③ ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 ④ に進んでください。

④ パソコンでヘッドセットを選ぶ。

1. 画面下のDockで [ （システム環境設定）] - [Bluetooth] の順に選ぶ。



2. 「Bluetooth」画面で、パソコンのControlボタンを押しながら「LinkBuds S」をクリックし、ポップアップメニューから「接続」を選ぶ。



接続が完了します。両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよい場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入ただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとBluetooth機器が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するBluetooth機器の取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

1. 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



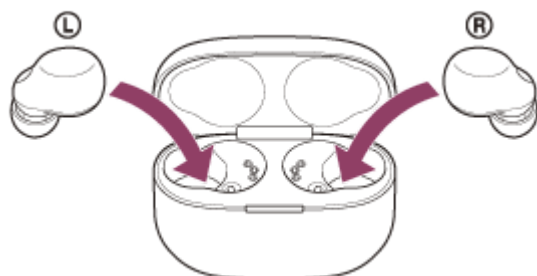
自動的に電源が入ります。

ヘッドセットを両耳に装着すると、自動的にペアリングモードになります。

両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

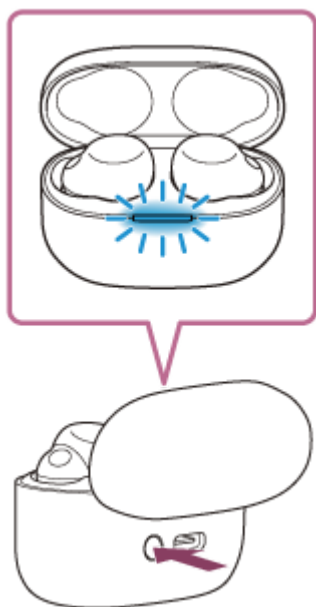
2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。
充電ケースのふたは開けたままにしてください。



2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

注：充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつゆっくり点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。ヘッドセットを両耳に装着すると、両側のヘッドセットから通知音が鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が同時に流れます。

2 Bluetooth機器でペアリング操作を行い、ヘッドセットを検索する。

Bluetooth機器の画面の検出機器一覧に「LinkBuds S」と表示されます。表示されない場合は、もう一度手順 ① から操作してください。

3 Bluetooth機器の画面に表示されている「LinkBuds S」を選び、互いの機器をペアリングする。

パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

4 Bluetooth機器でBluetooth接続操作を行う。

ヘッドセットとBluetooth機器が接続された状態になります。

ペアリングが完了すると自動的にヘッドセットと接続される機器もあります。

ヘッドセットを充電ケースにセットしている場合は、充電ケースのランプ（青）が約5秒間ゆっくり点滅します。

ヘッドセットを耳に装着している場合は、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）](#) 済みのBluetooth機器と接続する」をご覧ください。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順 ① から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたときヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングす

ると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。

- 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
- すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。

- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

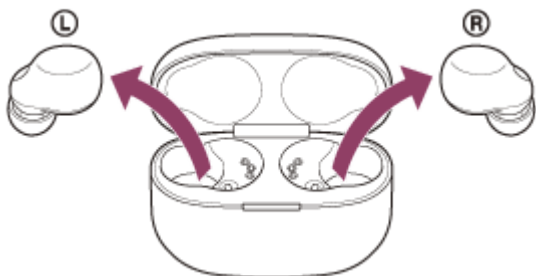
関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング） 済みのBluetooth機器と接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する

1 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

2 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

Bluetooth機器で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 **3** に進んでください。

3 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続する。

Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [LinkBuds S] [LE_LinkBuds S] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または [LinkBuds S] が表示される場合は [LinkBuds S] を、[LE_LinkBuds S] が表示される場合は [LE_LinkBuds S] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- Bluetooth機器と接続できなくなった場合は、Bluetooth機器でヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。Bluetooth機器の操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

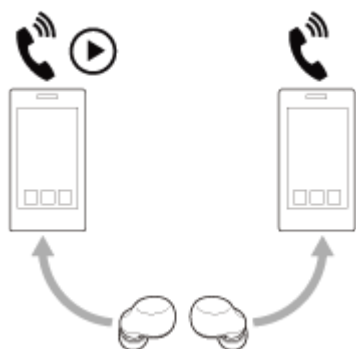
5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

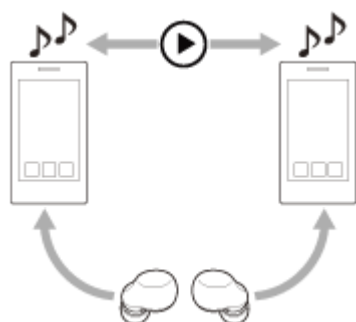
2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）

“Sony | Headphones Connect”アプリで「2台の機器と同時に接続」をオンにすると、ヘッドセットに2台の機器を同時にBluetooth接続して、以下のようなことができます。

- 2台のスマートフォンの着信を待ち受ける
ヘッドセットで一方のスマートフォンで再生した音楽を聞き、両方のスマートフォンの着信を待ち受けし、着信があれば通話できます。



- 2台の機器の音楽再生を切り替える
一方の機器からの音楽再生を、Bluetooth接続をしないおすことなく、もう一方の機器からの再生に切り替えることができます。



2台の機器を同時にBluetooth接続する

接続する前に、2台の機器のうちいずれか一方に“Sony | Headphones Connect”アプリがインストールされていることを確認してください。

- 1 ヘッドセットと2台の機器を、それぞれ機器登録（ペアリング）する。
- 2 “Sony | Headphones Connect”アプリがインストールされている機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。
- 3 “Sony | Headphones Connect”アプリで、「2台の機器と同時に接続」をオンにする。
- 4 2台目の機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。

2台の機器をBluetooth接続した状態で、ペアリング済みの別の機器をBluetooth接続することができます。

3台目の機器を操作してヘッドセットとBluetooth接続しようとする、最後に音楽を再生していた機器のBluetooth接続は維持され、もう一方の機器とのBluetooth接続が切断されます。その後、3台目の機器がヘッドセットとBluetooth接続されます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での音楽再生

- ヘッドセットを操作して音楽を再生する場合、最後に再生していた機器からの音楽再生になります。
 - もう一方の機器から音楽を再生したいときは、音楽を再生している機器の再生を停止し、もう一方の機器を操作して音楽を再生します。
- 1台目の機器で音楽を再生している状態で、2台目の機器を操作して再生を始めても、ヘッドセットからは1台目からの音楽が継続して聞こえます。この状態で1台目の再生を停止すると、2台目からの音楽を聞くことができます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での通話

- ヘッドセットに2台のスマートフォンなどを同時にBluetooth接続すると、2台とも着信待ち受け状態になります。
 - 1台目の機器に着信があると、着信音はヘッドセットから聞こえます。
- ヘッドセットで通話をしているときに、2台目の機器に着信があると、着信音は2台目の機器から聞こえます。1台目の機器の通話を終了すると、2台目の機器からの着信音がヘッドセットから聞こえるようになります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [Bluetooth接続するには](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

“音声の切り替え”で複数機器間の音声を切り替える

“音声の切り替え”とは、Android搭載デバイス間で音声を切り替えるGoogleの機能です。

“音声の切り替え”に対応しているヘッドセットは、複数のデバイスに接続できます。“音声の切り替え”をオンにした状態で各デバイスでヘッドセットを使用すると、ヘッドセットの音声が無縫に切り替わります。音声切り替わりと同時に、切り替え先のデバイスから通知されます。

対応するスマートフォン

Android 8.0以降

“音声の切り替え”について詳しくは、下記URLをご覧ください。

https://support.google.com/android/?p=switch_audio

機能の利用には、Google Fast Pairによる接続が必要です。

Google Fast Pairについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

<https://support.google.com/android/answer/9417604>

ご注意

- “音声の切り替え”の仕様は予告なく変更になる場合があります。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

1 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断する。

ヘッドセットを耳に装着している場合は、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

2 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

電源が切れます。

ヒント

- Bluetooth機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBluetooth接続を切断する場合があります。

関連項目

- [ヘッドセットの電源を切る](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

Bluetooth接続した機器の音楽を聞く

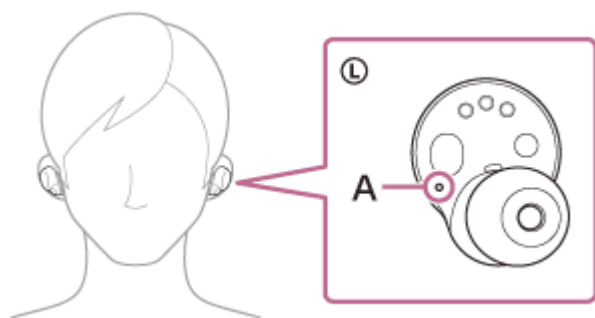
お使いのBluetooth機器が次のプロファイルに対応していれば、Bluetooth接続した機器の音楽をヘッドセットで聞いたり、ヘッドセットから機器を操作したりできます。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
高音質な音楽をワイヤレスで楽しめます。
- AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)
音量調節などの操作ができます。

操作はBluetooth機器によって異なることがあります。お使いのBluetooth機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

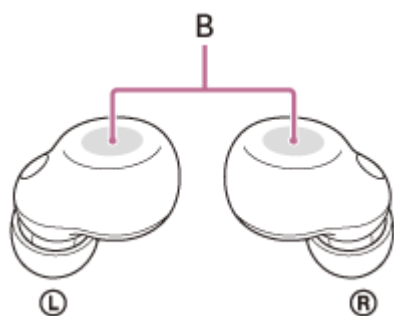
1 ヘッドセットを耳に装着する。

- ① (左) マーク表示のあるほうを左耳に、 ② (右) マーク表示のあるほうを右耳に装着します。L側には凸点 (突起) がついています。



A: 凸点 (突起)

ヘッドセットを耳に装着するときは、タッチセンサーに触れないように注意してください。



B: タッチセンサー (左、右)

ヘッドセットを回転させながら、イヤープースが最も耳穴の奥に入るようにしてください。

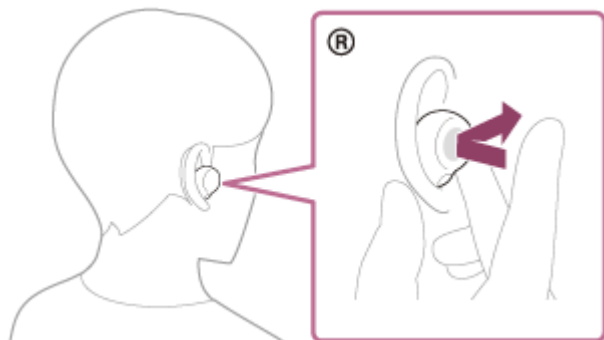


2 ヘッドセットとBluetooth機器を接続する。

3 Bluetooth機器を再生して、適度な音量に調節する。

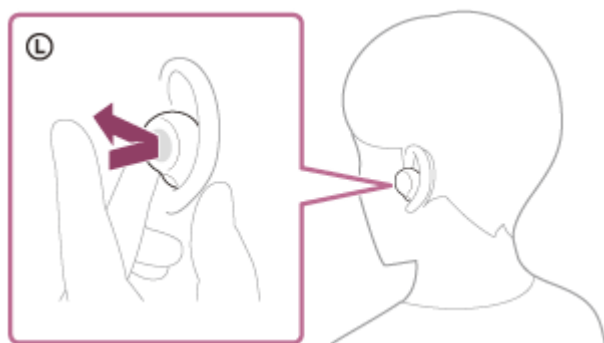
4 左右のタッチセンサーをタップして、音量を調節する。

- 音量を上げる：再生中にR側のタッチセンサーをすばやく（約0.4秒以内の間隔で）4回以上連続してタップします。



タップし続けている間、タップ数に関係なく、約0.4秒間隔で通知音が鳴るとともに音量が1ステップずつ上がります。

- 音量を下げる：再生中にL側のタッチセンサーをすばやく（約0.4秒以内の間隔で）4回以上連続してタップします。



タップし続けている間、タップ数に関係なく、約0.4秒間隔で通知音が鳴るとともに音量が1ステップずつ下がります。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

ヒント

- お買い上げ時の状態では、ヘッドセットを両耳に装着して音楽を再生しているときに片側または両側のヘッドセットを取り外すと、再生が一時停止します。取り外したヘッドセットを耳に装着すると再生を再開します。
- ヘッドセットはSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応のワンセグTVなどの音楽（または音声）を、ヘッドセットで聞くことができます。
- Bluetooth機器によっては、機器側で音量調節や音声出力先の設定が必要な場合があります。
- 音量は“Sony | Headphones Connect”アプリ上で調節することもできます。通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節できます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでタッチセンサーの機能を「音量コントロール」に変更して、ヘッドセットで音量を調節することもできます。

- 充電ケースから片側のヘッドセットだけを取り出して耳に装着し、片耳で音楽を聞くこともできます。
R側だけを耳に装着している場合は、R側のタッチセンサーで音楽再生の操作ができます。
L側だけを耳に装着している場合は、接続機器側で音楽再生の操作をしてください。
片側のヘッドセットで音楽を聞いているときにもう片側のヘッドセットを耳に装着すると、両耳で音楽を聞くことができます。

ご注意

- 音楽再生中でないときは、音量はヘッドセットでは調節できません。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでタッチセンサーの機能を［音量コントロール］または［割り当てなし］に変更してお使いの場合は、機能を割り当てた側のタッチセンサーを4回以上タップすることによる音量調節はできなくなります。
 - R側のタッチセンサーの機能を［音量コントロール］または［割り当てなし］に変更した場合：R側のタッチセンサーを4回以上タップしても、音量は上がりません。
 - L側のタッチセンサーの機能を［音量コントロール］または［割り当てなし］に変更した場合：L側のタッチセンサーを4回以上タップしても、音量は下がりにません。
- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。

関連項目

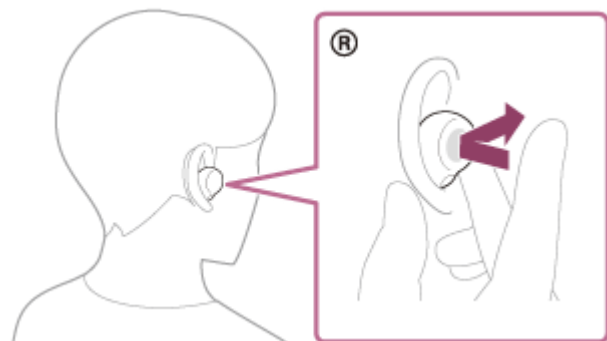
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

音楽再生時にできること（Bluetooth接続）

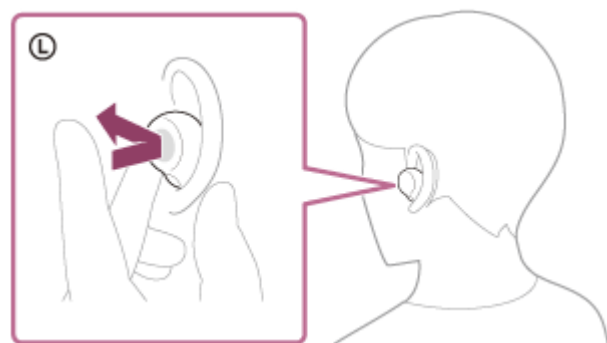
お使いのBluetooth機器が機器操作機能（対応プロファイル：AVRCP）に対応していれば、以下のような操作が可能です。Bluetooth機器によって利用できる機能は異なりますので、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

R側のヘッドセットで以下の操作ができます。



- 再生／一時停止：タッチセンサーをタップします。
- 次の曲の頭出し：タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップします。
- 前（または再生中）の曲の頭出し：タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）3回タップします。
- 音量を上げる：再生中にタッチセンサーをすばやく（約0.4秒以内の間隔で）4回以上連続してタップします。タップし続けている間、タップ数に関係なく、約0.4秒間隔で通知音が鳴るとともに音量が1ステップずつ上がります。音量が最大になると、警告音が鳴ります。

L側のヘッドセットで以下の操作ができます。



- 音量を下げる：再生中にタッチセンサーをすばやく（約0.4秒以内の間隔で）4回以上連続してタップします。タップし続けている間、タップ数に関係なく、約0.4秒間隔で通知音が鳴るとともに音量が1ステップずつ下がります。音量が最小になると、警告音が鳴ります。

“Sony | Headphones Connect”アプリでタッチセンサーの機能を「音量コントロール」に変更した場合は、機能を割り当てた側のタッチセンサーを使って、以下の操作ができます。

- 音量を上げる：再生中にタッチセンサーをタップします。音量が1ステップ上がります。
- 音量を下げる：再生中にタッチセンサーに触れたままにします。音量が連続して下がります。適度な音量になったらタッチセンサーから指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

ご注意

- 音楽再生中でないときは、音量はヘッドセットでは調節できません。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでタッチセンサーの機能を［音量コントロール］または［割り当てなし］に変更してお使いの場合は、機能を割り当てた側のタッチセンサーを4回以上タップすることによる音量調節はできなくなります。
 - R側のタッチセンサーの機能を［音量コントロール］または［割り当てなし］に変更した場合：R側のタッチセンサーを4回以上タップしても、音量は上がりません。
 - L側のタッチセンサーの機能を［音量コントロール］または［割り当てなし］に変更した場合：L側のタッチセンサーを4回以上タップしても、音量は上がりません。
- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。
- 接続する機器、使用する音楽ソフトやアプリによって利用できる操作が異なります。上記の操作をしても異なる動作をしたり、動作しない場合があります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

360 Reality Audioについて

360 Reality Audioとは

360 Reality Audioは、ソニーの360立体音響技術を使った新しい音楽体験です。ボーカルやコーラス、楽器などの音源一つひとつに位置情報をつけ、球状の空間に配置。アーティストの生演奏に囲まれているかのような、没入感のある立体的な音場を体感できます。

使用条件

iOSやAndroidを搭載したスマートフォンやタブレットに360 Reality Audioに対応した音楽ストリーミングサービス（有料）のアプリをダウンロードしてお使いください。

“Sony | Headphones Connect”アプリにより音場やヘッドセットの音響特性を最適化することで、よりリアルな臨場感を楽しめます。

360 Reality Audioについて詳しくは、下記のサイトをご確認ください。

<https://www.sony.net/360RA/>

ご注意

- 一部の国や地域ではサービスを利用できません。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

スピーカーと組み合わせてシームレス再生を楽しむ (Auto Switch)

Auto Switch対応ヘッドセットやスピーカーを操作することなく、音の出力先をヘッドセットとスピーカーの間で自動で切り替えてワイヤレス再生を楽しめます。

この機能は、“Sony | Headphones Connect”から“Sony | Sound Connect”にソフトウェア更新をすることで利用可能になります。

Auto Switch対応機器については下記URLをご覧ください。

https://www.sony.net/asw_comp_hp

Auto Switchを使用する前に、以下をご確認ください。

- スマートフォンに“Sony | Sound Connect”アプリをインストールする。
- スピーカーやヘッドセットのソフトウェアを最新バージョンにアップデートする。

1 Auto Switch対応スピーカーを“Sony | Sound Connect”アプリをインストールしたスマートフォンに機器登録 (ペアリング) する。

ペアリング済みの場合は、スピーカーをスマートフォンに接続してください。

2 “Sony | Sound Connect”アプリでスピーカーのBluetoothスタンバイ機能が有効になっていることを確認する。

3 スピーカーの電源を切る。

4 ヘッドセットとスマートフォンを接続し、Auto Switchからの画面の指示に従ってスピーカーとの連携を有効にする。

5 スマートフォンで音楽を再生する。

Auto Switchの設定をした“Sony | Sound Connect”アプリがインストールされているスマートフォンで音楽を再生してください。

ヘッドセットから音楽を再生した状態でヘッドセットを充電ケースにセットして電源を切ると、自動的にスピーカーからの再生に切り替わります。

うまく音が切り替わらないときは、スピーカーとヘッドセットを近づけてみてください。

スピーカーから音楽を再生した状態でヘッドセットを装着すると、自動的にヘッドセットからの再生に切り替わります。

音量を調節するには

再生中のヘッドセットやスピーカーで音量を調節してください。音量を変更しても、再生していないヘッドセットやスピーカーの音量設定は変更されません。

Auto Switchを無効にするときは

“Sony | Sound Connect”アプリから連携を解除します。ヘッドセットまたは連携したスピーカーを初期化した場合も連携が解除されます。

- スピーカーとの連携を有効にしたまま音の出力先を自動で切り替えたくない場合は、事前にスマートフォンの音楽再生を一時停止してください。

ご注意

- スマートフォンのハンズフリー機能では、Auto Switchはご使用になれません。

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

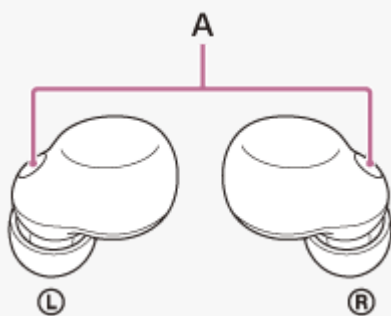
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

ノイズキャンセリング機能とは

ノイズキャンセリング機能とは、外部の環境ノイズ（乗り物内の騒音や室内の空調音など）と逆位相の音を出し、ノイズを打ち消すことで環境ノイズが低減して聞こえる機能です。

ご注意

- 静かな場所やノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなったと感じられる場合があります。
- ヘッドセットを耳に装着しているとき、装着状態によっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。この場合は、ヘッドセットを耳に装着しなおしてください。
- ノイズキャンセリング機能は、乗り物や空調などの主に低い周波数帯域の騒音に対して最も効果を発揮します。すべての音が打ち消されるわけではありません。
- 自動車、バスなどでご使用の場合、路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。
- 携帯電話の影響によりノイズが入ることがあります。この場合は、携帯電話からヘッドセットを離してください。
- 左右のヘッドセットのマイク部分を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の効果が得られなくなったり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部分から手などを離してください。



A: マイク（左、右）

関連項目

- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

ノイズキャンセリング機能を使う

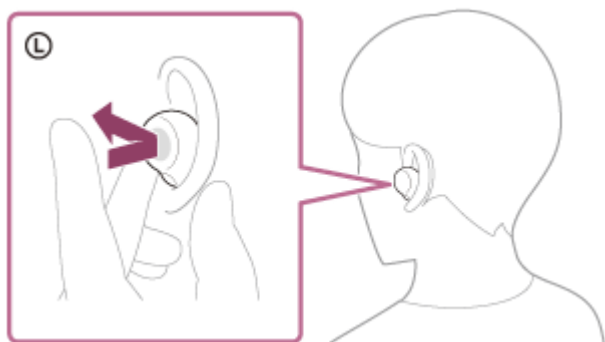
ノイズキャンセリング機能を使うと、周囲の雑音を気にせずに音楽を楽しむことができます。

1 ヘッドセットを充電ケースから取り出し、耳に装着する。

お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、ヘッドセットを耳に装着すると自動的にノイズキャンセリング機能がオンになります。

2回目以降は、前回の設定が保持されます。

2 L側のタッチセンサーをタップして、ノイズキャンセリング機能の設定を切り替える。



タップするたびに機能が次のように切り替わります。

外音取り込み機能「オン」

両側のヘッドセット（L側だけを装着している場合はL側）から通知音が同時に鳴ります。



ノイズキャンセリング機能「オン」

両側のヘッドセット（L側だけを装着している場合はL側）から通知音が同時に鳴ります。

取扱説明動画について

ノイズキャンセリング機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0045/ja/>

ヒント

- ノイズキャンセリング機能のオン/オフの切り替え、ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の設定は、“Sony | Headphones Connect”アプリでも変更できます。
- L側のヘッドセットをタップしたときに切り替わる機能は、“Sony | Headphones Connect”アプリで以下のいずれかに切り替えることができます。
 - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」/外音取り込み機能「オフ」
 - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」
 - 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」/外音取り込み機能「オフ」
 - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」/外音取り込み機能「オフ」
- ヘッドセットの片側のみを装着した場合、前回の設定がノイズキャンセリング機能になっていても、外音取り込み機能がオンになります。両側のヘッドセットを装着すると、ノイズキャンセリング機能がオンになります。

ご注意

- 付属のイヤピースを使用しないと、ノイズキャンセリング機能の効果が十分に発揮できません。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、ノイズキャンセリング機能が正常に動作しない場合があります。ヘッドセットを回転させて、しっかりと耳に装着してください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [ヘッドセットの電源を入れる](#)
- [ノイズキャンセリング機能とは](#)
- [音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

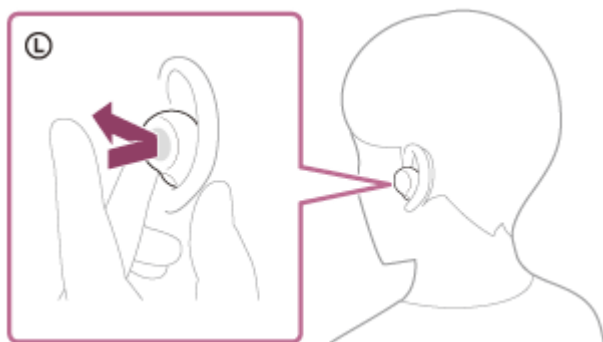
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））

左右のヘッドセットに内蔵されているマイクにより、周囲の音を聞き取りやすくし、周囲の音を確認しながら音楽を楽しむことができます。

外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）を使用するには

ノイズキャンセリング機能がオンの状態で、L側のタッチセンサーをタップします。



外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の設定を変更するには

ヘッドセットを“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールしたスマートフォンとBluetooth接続して、外音取り込み機能の設定を変更できます。

ボイスフォーカス：騒音を抑えつつアナウンスや人の声のみを取り込み、音楽と一緒に聞こえるようにします。

外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）をオフにするには

L側のタッチセンサーをタップして、外音取り込み機能をオフにします。

タップするたびに機能が次のように切り替わります。

ノイズキャンセリング機能「オン」

両側のヘッドセット（L側だけを装着している場合はL側）から通知音が同時に鳴ります。



外音取り込み機能「オン」

両側のヘッドセット（L側だけを装着している場合はL側）から通知音が同時に鳴ります。

取扱説明動画について

外音取り込み機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0045/ja/>

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリで変更した外音取り込み機能の設定はヘッドセットに記憶されます。一度設定を変更すれば、“Sony | Headphones Connect”アプリがインストールされていない機器の音楽を聞くときでも、外音取り込み機能をオンにするだけで記憶された設定で聞くことができます。
- L側のヘッドセットをタップしたときに切り替わる機能は、“Sony | Headphones Connect”アプリで以下のいずれかに切り替えることができます。
 - － ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
 - － ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」

- 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
- ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」

ご注意

- 外音取り込み機能を使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。
- 外音取り込み機能をオンにすると、周囲の環境によっては風切り音が大きくなる場合があります。このような場合は、外音取り込み機能をオフにしてご使用ください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、外音取り込み機能が正常に動作しない場合があります。ヘッドセットを回転させて、しっかりと耳に装着してください。
- 左右のヘッドセットのマイク部分を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の効果が得られなくなったり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部分から手などを離してください。
また、ヘッドセットにはハウリングの発生を検出し、短時間でハウリングを停止させる機能を搭載しています。
まれに報知音、電子音などの高い音に反応し、一時的にノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が停止する場合がありますが、約1秒後に自動的に復帰します。
- 周囲の音がかなり大きい環境で外音取り込み機能をオンにすると、ノイズ音が聞こえる場合があります。これは不具合ではありません。このような場合は、ノイズキャンセリング機能をオンにするか、ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）をオフにしてご使用ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

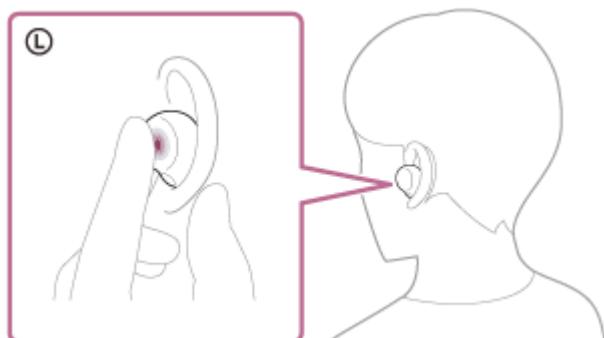
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）

再生中の音楽や通話音声、着信音の音量を下げて、周囲の音をさらに聞き取りやすくします。電車内のアナウンスなどをすぐに聞きたいときに便利です。

クイックアテンションモードを使用するには

L側のタッチセンサーに触れたままにします。クイックアテンションモードは、タッチセンサーに触れている間だけ動作します。



クイックアテンションモードを解除するには

タッチセンサーから指を離します。

取扱説明動画について

クイックアテンションモードの使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0046/ja/>

ご注意

- クイックアテンションモードを使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、クイックアテンションモードが正常に動作しない場合があります。ヘッドセットを回転させて、しっかりと耳に装着してください。
- 使用するイヤープiecesのサイズによっては、クイックアテンションモードの効果が感じにくい場合があります。周囲の音が最も聞こえにくくなるサイズを選んでください。

関連項目

- [イヤープiecesを交換する](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

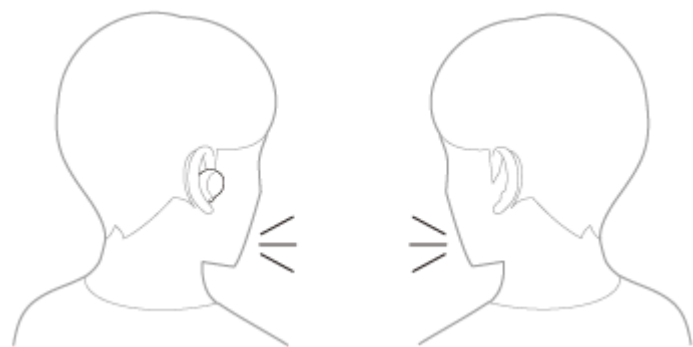
ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

事前にスピーク・トゥ・チャットを有効に設定しておく、相手に話しかけることで、自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが起動します。

再生中の音楽は、一時停止または消音し、相手の音声をマイクで取り込み聞きやすくします。

ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出しない状態が一定時間続くと自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが終了します。

その前に終了したいときは、L側かR側のどちらかのタッチセンサーをタップしてください。



スピーク・トゥ・チャットを有効にするには

スピーク・トゥ・チャットモードを起動するには、事前にスピーク・トゥ・チャットを有効にしておく必要があります。

お買い上げ時はスピーク・トゥ・チャットは無効に設定されています。有効にするには、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を変更してください。

スピーク・トゥ・チャットを無効にするには

無効にするには、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を変更してください。

取扱説明動画について

スピーク・トゥ・チャットの使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0047/ja/>

ヒント

- スピーク・トゥ・チャットモードは以下の場合にも終了します。
 - 装着検出による自動電源オフ機能を有効に設定していて、両側のヘッドセットを耳から取り外したとき
- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、有効／無効の切り替えのほかに、音声自動検出の感度変更、スピーク・トゥ・チャットモードが終了するまでの時間変更ができます。お買い上げ時の設定では、終了するまでの時間は約15秒となっています。

ご注意

- スピーク・トゥ・チャットモードは、ヘッドセット装着者の発話を検出して起動しますが、まれに意図せずに歯磨き、電動歯ブラシ、電動マッサージ器、電動シェーバー、咳、鼻歌などの振動などに反応して起動することがあります。スピーク・トゥ・チャットモードが起動することが多い場合は、スピーク・トゥ・チャットを「低感度」に設定してください。
- スピーク・トゥ・チャットモード起動時に再生中の音楽が一時停止されるのはBluetooth接続時のみです。
- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、スピーク・トゥ・チャットモード起動時の再生中の音楽や動画コンテンツの一時停止、スピーク・トゥ・チャットモード終了時の音楽の再開には対応していません。

- サービスとの連携をオンにした状態で、L側だけを耳に装着しているときは、ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出しても、スピーク・トゥ・チャットモードは起動されません。
- 音楽の再生音量が大きい、ヘッドセットが耳に正しく装着できていない、発話する声量が小さいなどの場合、ヘッドセット装着者の発話が検出されず、スピーク・トゥ・チャットが起動しないことがあります。
この場合は、長めに発話する、正しい装着を確認する、声量を大きくする、音楽の再生音量を下げる、スピーク・トゥ・チャットを「高感度」に設定することで改善する場合があります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

音質モードについて

Bluetooth再生時の音質モードを次の2通りから選べます。“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を切り替えたり、音質モードを確認したりすることができます。

音質優先：再生音質を優先します。

接続優先：接続の途切れにくさを優先します（お買い上げ時の設定）。

- 再生音質を優先したいときは、音質優先に設定してください。
- 音切れしやすいなど接続が不安定なときは、接続優先に設定してください。

ご注意

- 音質や使用条件などにより、再生時間が短くなる場合があります。
- お使いの環境によっては、接続優先にしても音の途切れが改善されない場合もあります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

対応コーデックについて

コーデックとはBluetooth接続で音声を無線伝送する際に使用する「音声圧縮変換方式」のことです。
ヘッドセットは以下のコーデックに対応しています。

Classic AudioのA2DPで接続しているとき（音楽再生の接続）：SBC、AAC、LDAC

LE Audioで接続しているとき：LC3

- SBC
Subband Codecの略です。
SBCは、Bluetooth機器が標準で使用する音声圧縮技術です。
Classic Audioを使用するBluetooth機器は、必ずSBCに対応しています。
- AAC
Advanced Audio Codingの略です。
AACは、主にiPhoneなどのApple製品で使用されており、SBCに比べ高音質です。
- LDAC
LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBluetooth通信経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。SBC等の既存Bluetooth通信向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します（*）。
また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約3倍（**）のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質のBluetooth無線伝送を実現しています。
- LC3
Low Complexity Communication Codecの略です。
LC3はLE Audioのコーデックで、低遅延での伝送を実現しています。

* DSDフォーマットは除く。

** LDACで990 kbps（96/48 kHz）または909 kbps（88.2/44.1 kHz）のビットレートが選択された場合のSBCとの比較。

Classic Audio接続時、接続機器がSBC、AAC、LDACのいずれかのコーデックで音楽を送信してきたときは、自動的にそのコーデックに対応し音楽再生します。

LDACで再生したい場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリを使用して、音質モードを「音質優先」に設定してください。「接続優先」（お買い上げ時の設定）では、LDACでの再生ができません。

SBCよりも高音質なコーデックに対応している接続機器の場合、対応しているコーデックの中から希望するコーデックで音楽を楽しむために、事前に接続機器側の設定が必要な場合があります。

コーデックの設定については接続機器の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [音質モードについて](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

DSEE Extremeについて

音楽ファイルの高音域を補完するとともに、サンプリング周波数とビットレートを本来の数値より高めることで、MP3などの高圧縮音源もCD以上の高解像になり、よりクリアな躍動感あるサウンドを楽しめます。さらに、周波数特性の補完には、AI（人工知能）技術を用いることで、高音域の補完性能が向上しました。
“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を切り替えることができます。

ご注意

- DSEE Extremeを「Auto」に設定していると、使用可能時間が短くなります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [使用可能時間](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

電話を受ける

お使いのスマートフォン／携帯電話がBluetoothプロファイルのHFP（Hands-free Profile）またはHSP（Headset Profile）に対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

- スマートフォン／携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォン／携帯電話によって異なることがあります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

着信音について

着信すると、ヘッドセットから着信音が聞こえます。

ヘッドセットから聞こえる着信音は、スマートフォン／携帯電話によって以下のいずれかとなります。

- ヘッドセットの着信音
- スマートフォン／携帯電話の着信音
- スマートフォン／携帯電話のBluetooth接続専用の着信音

1 あらかじめヘッドセットとスマートフォン／携帯電話をBluetooth接続しておく。

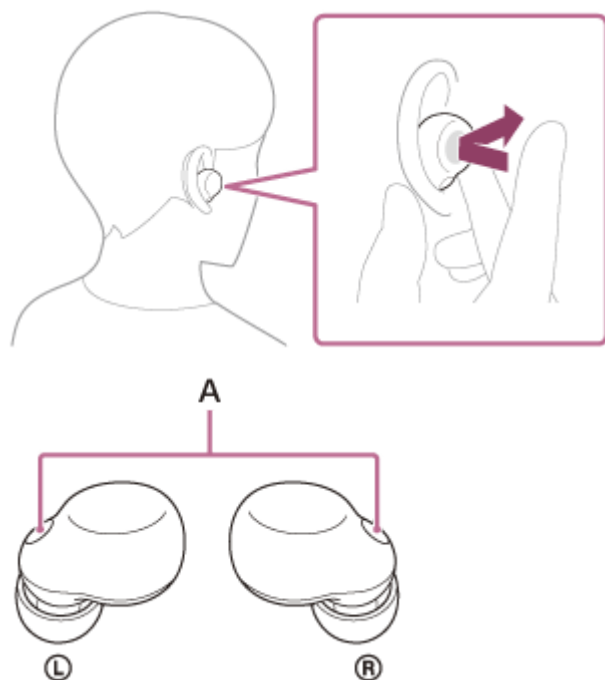
2 着信したら、L側かR側のどちらかのタッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップして電話を受ける。

ヘッドセットから音声聞こえます。

音楽再生中に着信すると、音楽が自動的に一時停止し、着信音が聞こえます。

再生中の音楽が一時停止しない場合は、手動で一時停止してください。

ヘッドセットのマイクを通して会話できます。



A: マイク（左、右）

ヘッドセットから着信音が聞こえない場合は

HFPまたはHSPで接続されていない可能性があります。スマートフォン／携帯電話側の接続状況を確認してください。

3 スマートフォン／携帯電話を操作して、音量を調節する。

4 通話が終了したら、L側かR側のどちらかのタッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップして電話を切る。

音楽再生中に着信した場合は、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- スマートフォン／携帯電話を操作して電話を受けた場合、機種によっては、スマートフォン／携帯電話での通話が優先されることがあります。HFP接続の場合、L側かR側のどちらかのタッチセンサーに約2秒以上触れたままにするか、スマートフォン／携帯電話を操作して、通話をヘッドセットに切り替えてください。
- 音量は“Sony | Headphones Connect”アプリ上で調節することもできます。通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節できます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。
- 片側のヘッドセットだけを耳に装着している場合でも通話ができます。着信したら、装着している側のヘッドセットを操作して電話を受けます。片側のヘッドセットで通話中にもう片側のヘッドセットを耳に装着すると、両耳で通話できます。

ご注意

- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、音楽再生中に着信しても、音楽が一時停止しないことがあります。また、音楽再生中に着信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォン／携帯電話は、ヘッドセットから50 cm以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話が近いとノイズが入ることがあります。
- 通話時にヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。
- 通話するときの音量はヘッドセットでは調節できません。接続機器側か“Sony | Headphones Connect”アプリ上で調節してください。

関連項目

- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [電話をかける](#)
- [通話時にできること](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

電話をかける

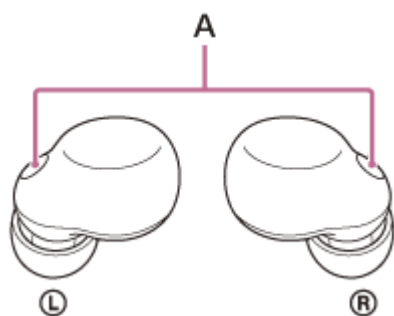
お使いのスマートフォン／携帯電話がBluetoothプロファイルのHFP（Hands-free Profile）またはHSP（Headset Profile）に対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

- スマートフォン／携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォン／携帯電話によって異なることがあります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

1 ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話をBluetooth接続する。

2 お使いのスマートフォン／携帯電話を操作して発信する。

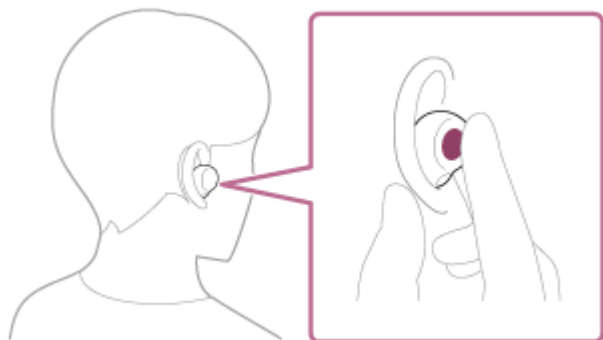
発信すると、ヘッドセットから発信音が聞こえます。
音楽再生中に発信すると、音楽が自動的に一時停止します。
再生中の音楽が一時停止しない場合は、手動で一時停止してください。
ヘッドセットのマイクを通して会話できます。



A: マイク（左、右）

ヘッドセットから発信音が聞こえない場合は

スマートフォンや携帯電話を操作するか、L側かR側のどちらかのタッチセンサーに約2秒以上触れたままにして、ヘッドセットに音声切り替えをお願いします。



3 スマートフォン／携帯電話を操作して、音量を調節する。

4 通話が終了したら、L側かR側のどちらかのタッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップして電話を切る。

音楽再生中に発信したときは、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- 音量は“Sony | Headphones Connect”アプリ上で調節することもできます。通話するときの音量と音楽を聞かときの音量を、それぞれ調節できます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。
- 片側のヘッドセットだけを耳に装着している場合でも通話ができます。片側のヘッドセットで通話中にもう片側のヘッドセットを耳に装着すると、両耳で通話できます。

ご注意

- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、音楽再生中に発信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォン／携帯電話は、ヘッドセットから50 cm以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話が近いとノイズが入ることがあります。
- 通話時にヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。
- 通話するときの音量はヘッドセットでは調節できません。接続機器側か“Sony | Headphones Connect”アプリ上で調節してください。

関連項目

- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [電話を受ける](#)
- [通話時にできること](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

通話時にできること

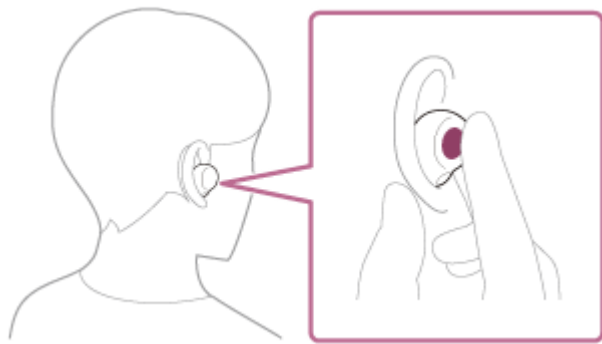
通話時にできることは、お使いのスマートフォン／携帯電話が対応しているプロファイルによって異なります。また、プロファイルが同じでも、スマートフォン／携帯電話によって利用できる機能が異なります。

お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

スマートフォン／携帯電話がHFP（Hands-free Profile）対応のとき

待ち受け中／音楽再生中

- R側のタッチセンサーに約2秒以上触れたままにすると、スマートフォン／携帯電話のボイスダイヤル機能や、Android搭載スマートフォンのGoogleアプリ、iPhoneのSiriを起動します。

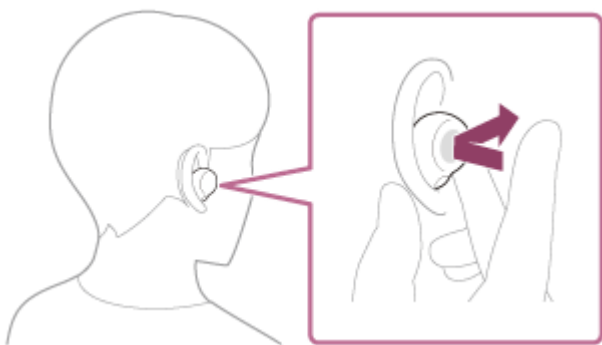


発信中

L側／R側のどちらのヘッドセットでも以下の操作ができます。

片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

- タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップすると、発信を中断します。



ノイズキャンセリング機能を割り当てていない側（お買い上げ時の状態ではR側）で以下の操作ができます。

- タッチセンサーに約2秒以上触れたままにすると、通話機器をヘッドセット⇄スマートフォン／携帯電話で切り替えます。

着信中

L側／R側のどちらのヘッドセットでも以下の操作ができます。

片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

- タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップすると、電話を受けます。
- タッチセンサーに約2秒以上触れたままにすると、着信を拒否します。

通話中

L側／R側のどちらのヘッドセットでも以下の操作ができます。
片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

- タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップすると、通話を終了します。

ノイズキャンセリング機能を割り当てていない側（お買い上げ時の状態ではR側）で以下の操作ができます。

- タッチセンサーに約2秒以上触れたままにすると、通話機器をヘッドセット⇄スマートフォン／携帯電話で切り替えます。

スマートフォン／携帯電話がHSP（Headset Profile）対応のとき

L側／R側のどちらのヘッドセットでも以下の操作ができます。
片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

発信中

- タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップすると、発信を中断します。

着信中

- タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップすると、電話を受けます。

通話中

- タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップすると、通話を終了します。

関連項目

- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [電話を受ける](#)
- [電話をかける](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

パソコンでビデオ通話する

パソコンでビデオ通話するときに、ヘッドセットからワイヤレスで通話することができます。

1 ヘッドセットとパソコンをBluetooth接続する。

2 パソコンのビデオ通話用アプリを起動する。

3 ビデオ通話用アプリの設定(*)を確認する。

- パソコンでビデオ通話するときは、音楽再生の接続(A2DP)ではなく、通話の接続(HFP/HSP)を選びます。音楽再生の接続を選ぶと、通話できない場合があります。
- スピーカーの設定で、通話の接続[ヘッドセット(LinkBuds S Hands-Free)](**)を選びます。([ヘッドホン(LinkBuds S Stereo)](**) は音楽再生の接続です。)
- マイクの設定で、通話の接続[ヘッドセット(LinkBuds S Hands-Free)](**)を選びます。マイクが設定されていない場合、ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出してスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が消音されます。
- お使いのビデオ通話用アプリによっては、スピーカーの設定やマイクの設定で、通話の接続[ヘッドセット(LinkBuds S Hands-Free)](**)や音楽再生の接続[ヘッドホン(LinkBuds S Stereo)](**)を選択できず、[LinkBuds S]のみ表示される場合があります。その場合は、[LinkBuds S]を選んでください。
- その他、よくあるお問い合わせとその回答をサポートホームページでご案内していますので、ご覧ください。

* お使いのビデオ通話用アプリによっては、機能がない場合があります。

** 名称はお使いのパソコンやビデオ通話用アプリによって異なります。

ヒント

- ビデオ通話用アプリの設定が確認できない場合や、通話の接続[ヘッドセット(LinkBuds S Hands-Free)]を選択できない場合は、パソコンの設定から[ヘッドセット(LinkBuds S Hands-Free)]を選び、接続してください。「[パソコンを機器登録\(ペアリング\)](#)してから接続する(Windows® 10)」、「[パソコンを機器登録\(ペアリング\)](#)してから接続する(Windows 8.1)」、「[パソコンを機器登録\(ペアリング\)](#)してから接続する(Mac)」をご覧ください。

ご注意

- スピーク・トゥ・チャットが有効になっている場合、マイクの設定を正しく選択していない場合は、発話によってスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が消音されることがあります。
- お使いのビデオ通話用アプリによっては、マイクの設定ができない場合があります。その場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリを使ってスピーク・トゥ・チャットを無効にしてください。
- お使いのパソコンやアプリケーションによって、ビデオ通話中にヘッドセットが正しく動作しない場合があります。また、パソコンを再起動すると症状が改善する場合があります。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [パソコンを機器登録\(ペアリング\)してから接続する\(Windows® 10\)](#)
- [パソコンを機器登録\(ペアリング\)してから接続する\(Windows 8.1\)](#)

- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）
- サポートホームページで調べる

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

Google アシスタントを使う

スマートフォンに搭載されているGoogle アシスタントを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でスマートフォンを操作したり、調べものをしたりすることができます。

対応するスマートフォン

Android 6.0以降（Googleアプリが最新版にアップデートされている必要があります）

1 “Sony | Headphones Connect”アプリを起動し、タッチセンサーの機能をGoogle アシスタントに変更する。

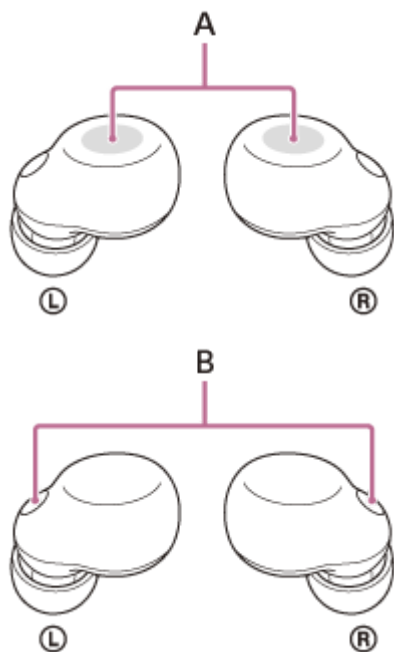
Google アシスタントは、タッチセンサーに音楽再生機能を割り当てている側のヘッドセットに設定することができます。“Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

初回接続時は、Google アシスタントを起動して会話画面で［ヘッドフォンの設定を完了］をタッチし、スマートフォン画面の指示に従ってGoogle アシスタントの初期設定を完了してください。

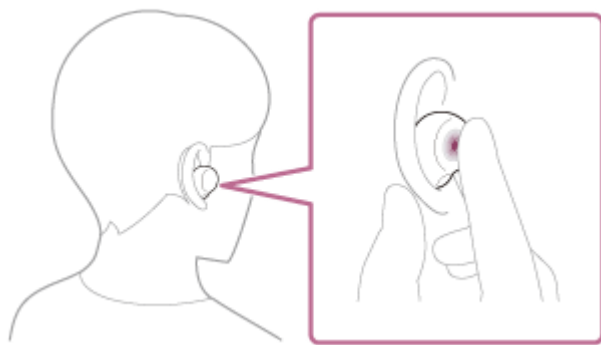
2 「Ok Google」などと呼びかける、もしくはGoogle アシスタントを設定した側のタッチセンサーを操作してGoogle アシスタントを使う。



A: タッチセンサー（左、右）

B: マイク（左、右）

- タッチセンサーに触れたままにすると音声入力が始まり、指を離すと音声入力を終了します。



- タッチセンサーに触れている間に音声入力の確認されない場合、指を離すと通知を読み上げます。

Google アシスタントの詳しい操作については、以下のホームページをご覧ください。

https://assistant.google.com/intl/ja_jp/

Google アシスタントでヘッドセットの操作をする

Google アシスタントで特定のワードを呼びかけることで、ノイズキャンセリングの設定などのヘッドセットの操作を行うことができます。

詳細については、以下のホームページ（*）をご覧ください。

<https://support.google.com/assistant/answer/7172842#headphones>

* ホームページで案内されているすべての仕様に対応しているわけではありません。

ヒント

- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認とアップデートは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行ってください。
- ネットワークに接続されていないなどの理由でGoogle アシスタントが使用できないときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から音声ガイダンス「Google アシスタントが接続されていません」が流れます。
- Google アシスタントの会話画面で【ヘッドフォンの設定を完了】が表示されていないときは、スマートフォンのBluetooth設定からヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報を削除して、もう一度ペアリングを行ってください。

ご注意

- スマートフォンでGoogle アシスタントの初期設定を行った際に、L側/R側のタッチセンサーのどちらの機能がGoogle アシスタントに設定されるかは、各種機能の設定や使用条件により変化します。タッチセンサーの機能を元の機能に戻す場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで変更してください。
- Google アシスタントは、タッチセンサーに音楽再生機能を割り当てている側のヘッドセットに設定することができます。片側だけでGoogle アシスタントを使用したい場合は、使用したい側のヘッドセットのタッチセンサーに音楽再生機能を割り当て、Google アシスタントを設定してください。
音楽再生機能を割り当てていない側ではGoogle アシスタントは使用できません。
“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。
- Google アシスタントとAmazon Alexaを、同時に設定することはできません。
- L側かR側のどちらかのヘッドセットの機能をGoogle アシスタントに設定した状態で、iPhone/iPod touchとBluetooth接続し、“Sony | Headphones Connect”アプリでGoogle アシスタントを設定していない側のヘッドセットの機能を変更すると、Google アシスタントを設定した側のヘッドセットの機能は、自動的に機能割り当てなしになります。
- L側のヘッドセットの機能をGoogle アシスタントに変更すると、サービスとの連携は自動的にオフになります。
- L側のヘッドセットの機能をGoogle アシスタントに変更した後にサービスとの連携をオンにすると、L側のヘッドセットの機能はお買い上げ時の状態（ノイズキャンセリング機能/外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の切り替えなど）に戻ります。ヘッドセットの機能を元の機能に戻す場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで変更してください。
- ヘッドセットのソフトウェアアップデート中はGoogle アシスタントは使用できません。
ソフトウェアアップデート中にGoogle アシスタントを使用すると、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から音声ガイダンス「Googleアシスタントはアップデート中は使用できません。アップデート完了までお待ちください。」が流れます。
ただし、「Ok Google」などと呼びかけてGoogle アシスタントを使用しているときは、音声ガイダンスは流れません。
- Google アシスタントは、一部の国や地域、言語では使用できません。

- Google アシスタントでヘッドセットの操作をする機能は、Google アシスタントの仕様によります。
- Google アシスタントの仕様は予告なく変更になる場合があります。

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

Amazon Alexaを使う

スマートフォンにインストールされているAmazon Alexaアプリを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でスマートフォンを操作したり、調べものをしたりすることができます。

対応するスマートフォン

- AndroidまたはiOSでAmazon Alexaアプリ最新版が対応しているOSバージョン
- Amazon Alexaアプリ最新版がインストールされている必要があります。

1. モバイルデバイスでアプリストアを開く。
2. Amazon Alexaアプリを検索する。
3. インストールを選ぶ。
4. 開くを選ぶ。

1 ヘッドセットを耳に装着して、スマートフォンとBluetooth接続する。

2 Amazon Alexaアプリを起動する。

Amazon Alexaは、タッチセンサーに音楽再生機能を割り当てている側のヘッドセットに設定することができます。“Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。

初めてAmazon Alexaを使うときは、Amazonアカウントでログインして手順 3 に進み、Amazon Alexaアプリにヘッドセットを登録します。

すでにAmazon Alexaアプリに登録した場合でも、左右のヘッドセットのタッチセンサーにAmazon Alexa以外が設定されているときは、左右どちらかのタッチセンサーにAmazon Alexaを設定しなおしてください。

3 Amazon Alexaの初期設定をする。

1. Amazon Alexaアプリ画面の右下にある「その他」アイコンをタッチし、「デバイスを追加」をタッチする。



2. 「セットアップするデバイスを選択」画面で「ヘッドホン」を選ぶ。



3. [デバイスを選択] 画面の [検出されたデバイス] から [LinkBuds S] を選ぶ。



[検出されたデバイス] に [LinkBuds S] が表示されない場合は、ヘッドセットとスマートフォンが Bluetooth接続されていません。ヘッドセットとスマートフォンを Bluetooth接続してください。

4. [Alexaを設定するデバイス： LinkBuds S] 画面で [次へ] をタッチする。



5. [このアクセサリでの現在の音声アシスタント設定が無効になります] という画面が表示された場合は [次へ] をタッチする。

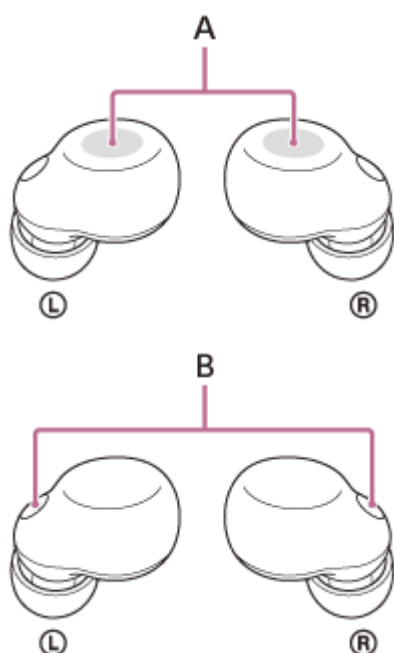


6. [セットアップ完了] 画面が表示されたら [完了] をタッチする。



初期設定が完了すると、R側（L側だけを装着して初期設定をした場合はL側）のヘッドセットのタッチセンサーの機能がAmazon Alexaに変わります。

- 4 ウェイクワード（*）（「アレクサ」）で呼びかける、もしくはAmazon Alexaが設定されている側のタッチセンサーを操作してAmazon Alexaを使う。



A : タッチセンサー（左、右）

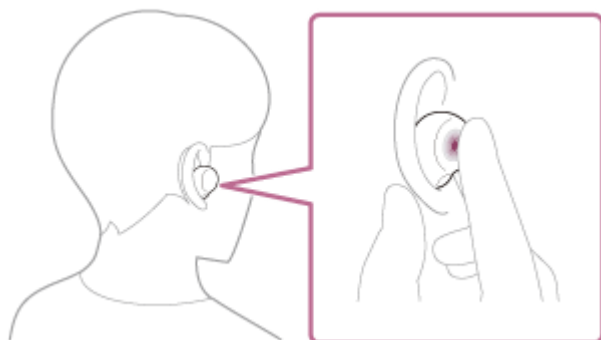
B : マイク（左、右）

- タッチセンサーを触れたままにして、音声入力する。

例：

「今日の天気は？」

「音楽をかけて（**）」



- 音声入力しないと自動的にキャンセルされます。

* ウェイクワードの設定には、“Sony | Headphones Connect”アプリで「音声アシスタントを声で起動」を有効にしてください。

** AmazonやPrime Musicの会員登録が必要です。

Amazon Alexaでできることについては、以下のホームページをご覧ください。
<https://www.amazon.com/b?node=16067214011>

ヒント

- Amazon Alexaを設定した側のヘッドセットだけを耳に装着してAmazon Alexaをお使いいただくこともできます。Amazon Alexaを設定した状態で片側のヘッドセットだけをお使いの場合は、Amazon Alexaを設定した側のヘッドセットをお使いください。“Sony | Headphones Connect”アプリで設定をご確認ください。
- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認とアップデートは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行ってください。
- ネットワークに接続されていないなどの理由でAmazon Alexaが使用できないときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から音声ガイダンス「モバイルデバイスが接続されていないか、Alexaアプリを起動して再度お試しください」が流れます。

ご注意

- Amazon Alexaアプリにヘッドセットを登録した際に、L側/R側のタッチセンサーのどちらの機能がAmazon Alexaに設定されるかは、各種機能の設定や使用条件により変化します。タッチセンサーの機能を元の機能に戻す場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで変更してください。
- Amazon Alexaは、タッチセンサーに音楽再生機能を割り当てている側のヘッドセットに設定することができます。片側だけでAmazon Alexaを使用したい場合は、使用したい側のヘッドセットのタッチセンサーに音楽再生機能を割り当て、Amazon Alexaを設定してください。
音楽再生機能を割り当てていない側ではAmazon Alexaは使用できません。“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。
- Amazon AlexaとGoogle アシスタントを、同時に設定することはできません。
- Amazon Alexaは、一部の国や地域、言語では使用できません。Alexaの機能はお使いの場所によって異なる場合があります。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

音声アシスト機能（Googleアプリ）を使う

Android搭載スマートフォンに搭載されているGoogleアプリを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でAndroid搭載スマートフォンを操作できます。

1 アシストと音声入力の選択をGoogleアプリに設定する。

Android搭載スマートフォンで「設定」 - 「アプリと通知」 - 「詳細設定」 - 「標準のアプリ」 - 「アシストと音声入力」を選び、「アシストアプリ」をGoogleアプリに設定します。

上記の操作は一例です。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

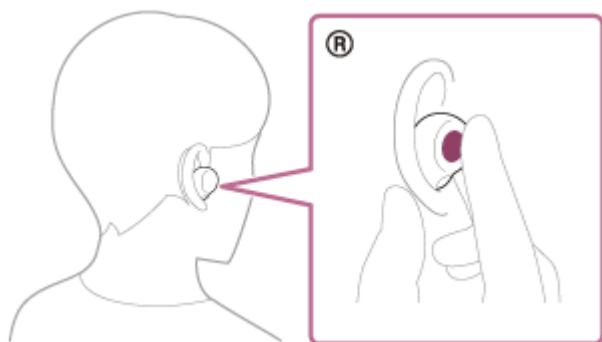
注：最新版のGoogleアプリが必要なことがあります。

Googleアプリについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書やサポートページまたはGoogle Playストアのウェブページをご覧ください。

Android搭載スマートフォンの仕様により、ヘッドセットからのGoogleアプリの起動に対応しない場合があります。

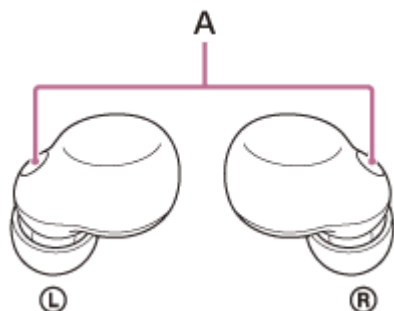
2 ヘッドセットを耳に装着し、Android搭載スマートフォンにBluetooth接続する。

3 Android搭載スマートフォンが待ち受け中や音楽再生中に、R側のタッチセンサーに約2秒以上触れたままにする。



Googleアプリが起動します。

4 ヘッドセットのマイクを通して、Googleアプリに頼みごとをする。



A：マイク（左、右）

Googleアプリと連携しているアプリなどについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

Googleアプリを起動した後、頼みごとをしないで一定時間がたつと、音声入力が解除されます。

ご注意

- L側かR側のどちらかのタッチセンサーの機能をGoogle アシスタントに変更すると、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できません。
- L側かR側のどちらかのタッチセンサーの機能をAmazon Alexaに変更すると、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できません。
- Android搭載スマートフォンで“Ok Google”を有効にしても、“Ok Google”の音声でGoogleアプリを起動することはできません。
- 音声アシスト機能を使用する際に、ヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。
- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンによりGoogleアプリが起動しない場合があります。
- 音声アシスト機能に対応していない機器と接続した場合、Googleアプリは動作しません。

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

音声アシスト機能（Siri）を使う

iPhoneに搭載されているSiriを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でiPhoneを操作できます。

1 Siriを有効にする。

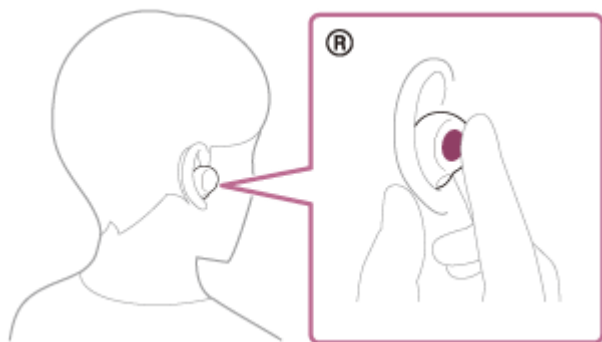
iPhoneで「設定」 - 「Siriと検索」の順に選び、「ホームボタンを押してSiriを使用」と「ロック中にSiriを許可」をオンにします。

上記の操作は一例です。詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

注：Siriについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書やサポートページをご覧ください。

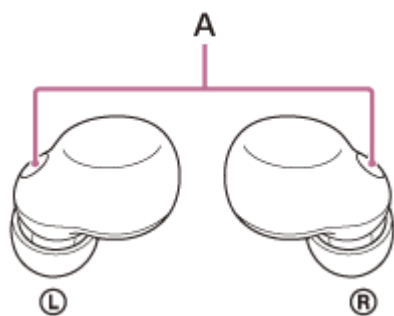
2 ヘッドセットを耳に装着し、iPhoneにBluetooth接続する。

3 iPhoneが待ち受け中や音楽再生中に、R側のタッチセンサーに約2秒以上触れたままにする。



Siriが起動します。

4 ヘッドセットのマイクを通して、Siriに頼みごとをする。



A：マイク（左、右）

Siriと連携しているアプリなどについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

Siriを起動した後、頼みごとをしないで一定時間がたつと、Siriが解除されます。

ご注意

- iPhoneで“Hey Siri”を有効にしても、“Hey Siri”の音声でSiriを起動することはできません。
- 音声アシスト機能を使用する際に、ヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。

- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンによりSiriが起動しない場合があります。

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

“Sony | Headphones Connect”アプリでできること

“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールしたスマートフォンとヘッドセットをBluetooth接続すると、以下のことができます。

- ヘッドセットのソフトウェアアップデート
- 音声ガイダンスの言語変更
- 通知音、音声ガイダンスのオン/オフ切り替え
- タッチセンサーの機能を変更
- 音声アシスタントの設定を変更*
- Quick Access設定*
- Bluetooth接続モード設定（音質モード）*
- ヘッドセットの電源オフ
- 装着検出による自動再生停止/再生再開機能の設定
- 装着検出による自動電源オフ機能の設定
- Amazon Alexaのウェイクワードのオン/オフ切り替え*
- マルチポイント接続（2台の機器と同時に接続）のオン/オフ切り替え*
- マルチポイント接続中の機器変更*
- ヘッドセットのLE Audio接続設定
- ヘッドセットの初期化
- サービスとの連携のオン/オフ切り替え*
- イヤーピース選択アシスト
- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認
- 左右のヘッドセットとスマートフォンとのBluetooth接続状態表示
- LE Audio接続状態表示
- Bluetooth接続コーデックの表示
- DSEE Extreme（高音域補完）の設定状態表示
- DSEE Extreme（高音域補完）設定
- ヘッドセットの充電式電池の残量表示
- 充電ケースの充電式電池の残量表示
- 充電を促す通知の表示（充電ケースの充電式電池残量が少なくなるときに表示します）
- イコライザー/CLEAR BASS設定
- イコライザー設定のカスタム設定
- ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能のモードを調整（外音コントロール）
- ヘッドセットからノイズキャンセリング機能/外音取り込み機能を切り替える際の切り替えパターン設定
- 行動検出によるノイズキャンセリング機能の自動調整（アダプティブサウンドコントロール）
- スピーク・トゥ・チャット音声自動検出の有効/無効の切り替えと設定
- 音楽の再生/一時停止、前（または再生中）の曲の頭出し/次の曲の頭出し
- 音楽再生時/通話時の音量調節
- かんたん機器登録（ペアリング）*
- ヘッドセットの使用状況の記録と表示
- 360 Reality Audio設定
- セーフリスニングのオン/オフ切り替え
- Auto Play設定
- スピーカーとのシームレス再生（Auto Switch）* **

* LE Audio接続時には使用できません。

** この機能は、“Sony | Headphones Connect”から“Sony | Sound Connect”にソフトウェア更新をすることで利用可能になります。

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

ヒント

- オーディオ機器によって“Sony | Headphones Connect”アプリでできる操作は異なります。アプリの仕様および画面デザインは予告なく変更する場合があります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする](#)
- [音声ガイダンスについて](#)
- [タッチセンサーについて](#)
- [Quick Access（クイックアクセス）を使う](#)
- [音質モードについて](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [対応コーデックについて](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [DSEE Extremeについて](#)
- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)
- [音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））](#)
- [ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）](#)
- [2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)
- [スピーカーと組み合わせてシームレス再生を楽しむ（Auto Switch）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする

- 1 Google PlayストアまたはApp Storeから“Sony | Headphones Connect”アプリをダウンロードしてスマートフォンにインストールする。

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/



Sony Headphones Connect



- 2 インストールが終了したら“Sony | Headphones Connect”アプリを起動する。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

“Sony | Headphones Connect”アプリからサポート情報を見る

“Sony | Headphones Connect”アプリから最新のサポート情報を見ることができます。

- 1 “Sony | Headphones Connect”アプリ画面から【ヘルプ】を選ぶ。
- 2 【Headphones Connect ヘルプ】画面が開き、サポート情報が表示される。
- 3 参照したい項目を選ぶ。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）

“Sony | Headphones Connect”アプリを使ってヘッドセットの最新のソフトウェアをインストールすることで、新しい機能を楽しむことができたり、いくつかの問題が解決することがあります。

常にソフトウェアを最新の状態にしてお使いください。

ヘッドセットの最新のソフトウェアおよびアップデートの方法については、サポートページ内のお知らせなどをご確認ください。

“Sony | Headphones Connect”アプリで［ソフトウェアの自動ダウンロード］設定を有効にしている場合（お買い上げ時の設定）、自動的にソフトウェアのダウンロードと転送が開始されます。

以下の方法でも、ヘッドセットのソフトウェアアップデートを行うことができます。

- 1 “Sony | Headphones Connect”アプリをインストールしたスマートフォンに、サーバーからアップデート用ソフトウェアをダウンロードする。
- 2 スマートフォンからヘッドセットへアップデート用ソフトウェアを転送する。
- 3 画面の表示に従ってアップデートを行う。

ご注意

- ヘッドセットの自動電源オフ機能を無効に変更してからアップデートをすることをおすすめします。
お買い上げ時の設定では、ヘッドセットを装着していない状態が15分続くと自動的に電源が切れます。“Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、この設定を変更できます。
- アップデートで使用しているモバイルデバイスに他のBluetooth機器が接続されている場合、アップデートが完了するまで、すべてのBluetooth機器の電源を切ってください。
モバイルデバイスにBluetooth Low Energyに対応した機器（ウェアラブル端末・スマートウォッチなど）が接続されているとアップデートができない場合があります。
- ヘッドセットのアップデートが完了できない場合、以下の点に注意してください。
 - モバイルデバイスにある、“Sony | Headphones Connect”アプリ以外のアプリをすべて終了する。
 - ヘッドセットとモバイルデバイスを十分に充電する。
 - ヘッドセットとアップデートで使用するモバイルデバイスをできるだけ近づけてアップデートを行う。
 - 周辺の無線LAN機器やBluetooth機器などの近くでアップデートを行わない。
 - アップデートはスマートフォンの省電力モード（*）をオフにして行う。
お使いのスマートフォンのOSバージョンによって、省電力モードではアップデートが完了しない場合があります。

* 名称はお使いのスマートフォンによって異なります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

サービスとの連携でできること

“Sony | Headphones Connect”アプリで設定すると、下記アプリ(*)をヘッドセットと連携してお使いいただけます。



* 2023年5月30日時点で連携できるサービスが記載されています。

最新のサービスおよび連携してできる体験について詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリの【サービス】タブをご確認ください。

1 “Sony | Headphones Connect”アプリを起動する。

2 【サービス】タブから各サービスの設定をする。



ご注意

- 連携できるサービスは、国や地域ごとに異なります。
- 連携できるサービスの仕様は、予告なく変更になる場合があります。
- Endelをお使いの場合、対応するEndelアプリのインストールが必要です。詳細は、以下のEndelのサイトをご確認ください。
<https://endel.io/>
- サービスとの連携について詳しくは、下記URLをご覧ください。
sony.net/service/link

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

使用上のご注意

Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術ではおよそ10 m程度までの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではヘッドセットおよびBluetooth機器の電源を切ってください。
 - － 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く
- ヘッドセットを航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従ってください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べてヘッドセット側での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- ヘッドセットは、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。Bluetooth通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ヘッドセットはすべてのBluetooth機器とのBluetooth接続を保証するものではありません。
 - － 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - － 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
 - － ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

温度上昇に関するご注意

- ヘッドセットや充電ケースの充電中、またはヘッドセットを長時間使用すると、ヘッドセットや充電ケースの温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

静電気に関するご注意

- 空気が乾燥する時期にヘッドセットを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、これはヘッドセットの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身につけていただくことにより影響が軽減されます。

装着に関するご注意

- 使用後は、ゆっくりと耳から取り外してください。
- ヘッドセットは密閉度を高めていますので、強く押された場合や急に耳から外した場合、鼓膜などを痛める危険があります。また、ヘッドセットを装着したときに、振動板から音が生じる場合がありますが、故障ではありません。
- ヘッドセットを長時間使用すると、耳にかゆみや炎症などの症状が出る場合があります。ヘッドセットの使用中に上記のような症状を感じたときは、すぐに使用を中止し、医師、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- 長時間使用する場合は、定期的にヘッドセットを耳から取り外すことをおすすめします。

その他のご注意

- ヘッドセットは精密機器のため落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- タッチセンサーにステッカーなどを貼ると、正しく動作しないことがあります。

- 携帯電話でご利用の際、電波状況、場所の影響により、ご利用できない場合があります。
- 音導管（音出口の筒部）やマイクに息を吹きかけないでください。
- ヘッドセットを使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- イヤーピースは長期の使用・保存により破損したり劣化するおそれがあります。
- イヤーピースが汚れたらヘッドセットから外して、薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は水気をよくふいてから取り付けてください。外しにくいときは、乾いた柔らかい布でくるむと外しやすくなります。
- 水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。特に以下の場合はご注意ください。
 - － 洗面所などでの使用
水のいった洗面台や容器の中に落とさないようご注意ください。
 - － 雨や雪、湿度の高い場所での使用

お手入れのしかた

- ヘッドセットの外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためたり、破損につながるため使わないでください。
詳しくは、「[お手入れ](#)」の項目をご覧ください。

ヘッドセットと充電ケースを医療機器の近くで使わない

- 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
- ヘッドセットと充電ケースは磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与えるおそれがあります。ヘッドセットをこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、ヘッドセットのご使用前に担当医師にご相談ください。

ヘッドセットと充電ケースを磁気カードに近づけない

- ヘッドセットと充電ケースは磁石を使用しています。磁気を利用したカード類を近づけると、カードの磁気に変化して使えなくなることがあります。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

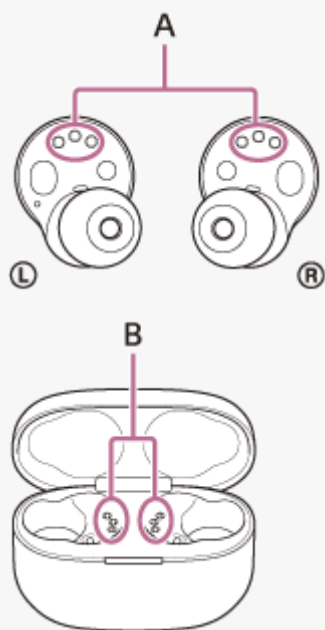
使い終わったら

ヘッドセットを使い終わったら、必ず充電ケースにセットしてください。
充電ケースのふたを閉めてください。



ご注意

- ヘッドセットの充電端子に汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となります。ご使用後は、すみやかに汗や水を拭き取ってください。また、ヘッドセットや充電ケースの端子が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。



A: ヘッドセットの充電端子
B: 充電ケースの充電端子

ヘッドセットに水がかかった場合は

1. ヘッドセットに付着した水滴は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
2. イヤーピースを取り外して音導管（音出口の筒部）と通気孔を下に向け、2、3回振って水滴を取り除いてください。



3. マイク部分を下に向け、乾いた布などに5回程度軽くたたくように当てて内部にたまった水を出してください。



4. その状態のまま常温で放置し乾燥させてください。

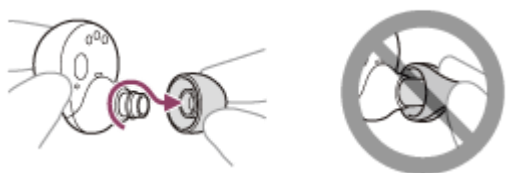
5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

お手入れ

以下の手順に従って定期的にお手入れを行ってください。

1 イヤーピースを外す。



ヘッドセットを持ち、イヤーピースをねじりながら、回転させて引き抜いてください。
イヤーピースの端をつまんで引っ張らないでください。

2 ヘッドセットをお手入れする。

本体をお手入れする

ヘッドセットの外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためるので使わないでください。

ヘッドセットに付着した水滴は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。

寒冷地などでは、水滴が付着したまま放置すると凍結するおそれがあります。

マイク部分をお手入れする

水で濡らして固く絞った布でヘッドセットのメッシュ部分の汚れを拭き取ってください。

汚れをヘッドセットのメッシュ部分の奥へ押し込まないように取り除いてください。

充電端子をお手入れする

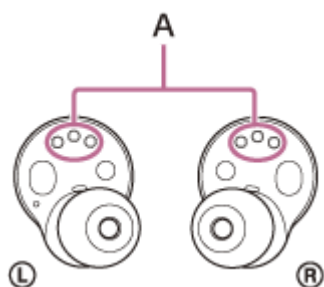
ヘッドセットや充電ケースの端子部に異物や汗などの水分が付着したままにしておくと、端子腐食の原因となり、充電ができなくなることがあります。

使い終わった後には、必ず乾いた柔らかい布や綿棒で端子部分を優しく清掃してください。

充電ができなくなったときも、端子を丁寧に清掃することで改善できる場合がありますのでお試しください。

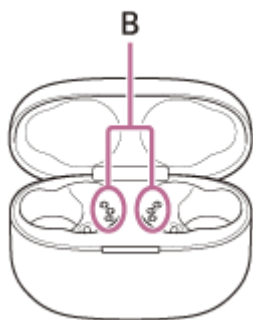
お手入れが必要な充電端子

- ヘッドセット



A: ヘッドセットの充電端子 (左、右)

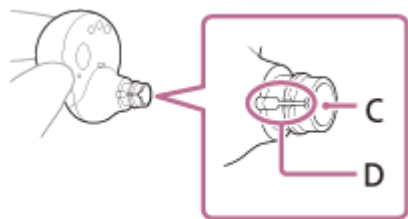
- 充電ケース



B : 充電ケースの充電端子（左、右）

音の出口の掃除

水で濡らして固く絞った布でヘッドセットの音の出口部分、溝部分の耳垢などの汚れを拭き取ってください。汚れをヘッドセットの奥へ押し込まないように取り除いてください。



C : 音の出口

D : 溝



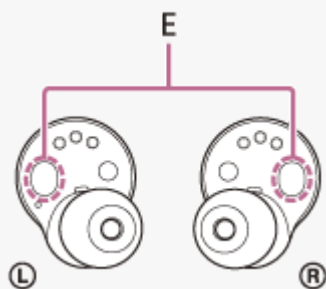
ヘッドセットをよく乾かす

掃除が完了したら、常温で放置してしっかり乾燥させてください。

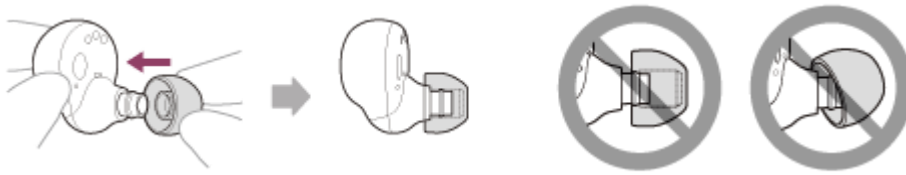


ご注意

- ヘッドセットを乾かす場合、IRセンサーがテーブルに触れていると、装着されていると判断され、充電式電池が消費され続ける場合があります。IRセンサーを横向き、もしくは上向きに置いてください。



3 イヤーピースを取り付ける。



イヤーピースを奥までしっかり押し込んでください。イヤーピースを斜めに取り付けしないでください。
イヤーピースが完全に取り付けられていない場合は、ヘッドセットから外れるおそれや、音質・ノイズキャンセリング性能・装着性などが悪化する可能性があります。

4 充電ケースにセットする。

ヘッドセットのお手入れ・清掃が終わり、乾燥させたら、必ず充電ケースにセットしてください。
充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

水濡れによる焼損や故障を防ぐために

ご使用後は必ずお手入れをしてください

充電ケースのUSB Type-C端子やヘッドセットの充電端子に水や汗などの液体やほこりなどの異物が付着した状態での充電は、火災・感電・発熱・発煙・発火によるやけどや大けがなどの人身事故の原因や、故障の原因となります。

下記のような状況を避け、ヘッドセットや充電ケースに水分や汚れが付かないよう注意してください。

万一水分や汚れが付いてしまった場合は、「[ヘッドセットや充電ケースが水に濡れてしまった場合は](#)」の内容に従い、お手入れをしてから使用してください。

- キッチンでの水仕事や洗面所で手を洗った後、水に濡れた手をよく拭かずにヘッドセットや充電ケースに触れる。



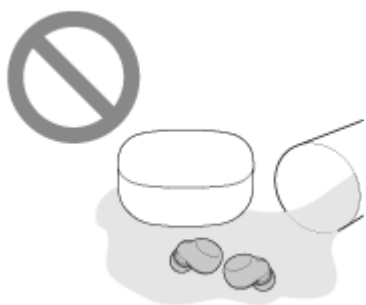
- 汗をかいた衣服の胸ポケットに入れる。



- 冷えたペットボトルと一緒にカバンの中に入れる。



- 飲食をしているときに、うっかり飲み物をこぼしてしまう。



5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

ヘッドセットや充電ケースが水に濡れてしまった場合は

ヘッドセットの防滴性能について

- 充電ケースは、防水、防滴に対応しておりません。
- ヘッドセットは、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」の「水の浸入に対する保護等級」であるIPX4相当の防滴仕様となっています。水中での使用はできません。
使いかたによっては内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となるおそれがあります。以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。
IPX4とは：あらゆる方向からの、飛沫に対して本体機能を保護するものです。
- ヘッドセットの音導管（音出口の筒部）、通気孔、マイク部分は非耐水エリアです。
音導管、通気孔、マイク部分に水が入ったままになると、一時的に以下のような症状等が出ることがありますが、故障ではありません。
 - － 音が聞こえづらくなる
 - － ノイズキャンセリングの効果が弱くなる
 - － 異常な音が出る
 - － 通話音声聞こえづらくなる

ヘッドセットの防滴性能の対象となる液体

対象：	真水、水道水、汗
非対象：	上記以外の液体（例：石けん水、洗剤や入浴剤の入った水、シャンプー、温泉水、お湯、プールの水、海水など）

性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

ヘッドセットと充電ケースを故障から守るために

下記の点をご確認のうえ、正しくご使用ください。

- ヘッドセットの音出口、マイク部分に向けて、水を強く当てないでください。
- 寒冷地などでは、凍結するおそれがあります。使用後は必ず水滴を拭き取るようにしてください。
- ヘッドセットを水の中に入れたり、風呂場など、湿度の高いところで使用しないでください。
- ヘッドセットを落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。変形や破損により、性能劣化の原因となることがあります。
- ヘッドセットに水がかかった場合は、
 1. ヘッドセットに付着した水滴は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
 2. イヤーピースを取り外して音導管（音出口の筒部）と通気孔を下に向け、2、3回振って水滴を取り除いてください。

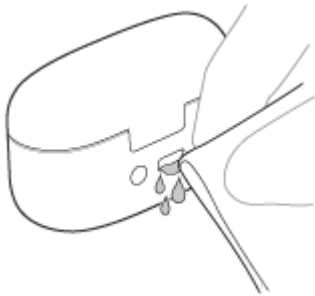


3. マイク部分を下に向け、乾いた布などに5回程度軽くたたくように当てて内部にたまった水を出してください。



4. その状態のまま常温で放置し乾燥させてください。

- ヘッドセットや充電ケースが汗などで濡れたまま充電すると、端子が腐食します。充電する前に乾いた柔らかい布で水分を完全に拭き取り、常温で放置して乾燥させてから充電してください。
- お手入れをしないで故障した場合の修理は無償保証の対象外となります。



- ヘッドセットや充電ケースの端子が汚れたときは、乾いた柔らかい布で清掃してください。
- スポンやシャツの胸ポケットに入れたまま洗濯をしないでください。



- ひび割れや変形が見られるときは、水のかかる場所でのご使用を控えていただくか、ソニーの修理相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

ライセンスについて

- 本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
<https://rd1.sony.net/help/mdr/sl/22/>
- 第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

商標について

- Microsoft およびWindows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- iPhone、iPod touch、macOS、MacおよびSiriは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- App Storeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.のサービスマークです。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Google、AndroidおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。
- Amazon、Alexa及び関連するすべてのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- ウォークマン®、WALKMAN®、WALKMAN®ロゴは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標です。
- LDAC™は、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標です。
- USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forumの登録商標です。
- “DSEE”、“DSEE Extreme”はソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますのでお買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

このヘルプガイド、および使用上のご注意／主な仕様をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセットの補修用部品を製造終了後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

アースブルーとバイオレットの修理について

製品の色柄は固有のものとなっているため、修理を行う際は、お預かりした製品とは異なる色柄との交換になります。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

電話・ファックスで問い合わせる

ヘッドセットについてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- セット本体に関するご質問時：
 - － 型名：LinkBuds S
 - － 製造（シリアル）番号：充電ケースの底面に記載
 - － ご相談内容：できるだけ詳しく
 - － お買い上げ年月日
- 接続に関するご質問時：

質問の内容によっては、ヘッドセットに接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

使い方相談窓口

- フリーダイヤル：0120-333-020
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- 携帯電話・一部のIP電話：050-3754-9577
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- FAX：0120-333-389

修理相談窓口

- フリーダイヤル：0120-222-330
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- 携帯電話・一部のIP電話：050-3754-9599
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- FAX：0120-333-389

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

サポートホームページで調べる

<https://www.sony.jp/support/headphone/>

接続対応機器情報、サポート情報、よくあるお問い合わせ（困ったときは）とその回答をご案内しています。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度下記の項目をチェックしてみてください。

- 本ヘルプガイドの各項目や「困ったときは」で調べる。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉める。
充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットを充電する。
充電することで問題が解決することがあります。
- 接続機器を再起動する。
お使いのパソコン・スマートフォンなどの接続機器を再起動することで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットする。
- ヘッドセットを初期化する。
音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべての機器登録（ペアリング）情報を削除します。
- サポートホームページで調べる。

それでも解決しない場合、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。
なお、保証書とアフターサービスについては、「[保証書とアフターサービス](#)」をご覧ください。

関連項目

- [充電する](#)
- [保証書とアフターサービス](#)
- [電話・ファックスで問い合わせる](#)
- [サポートホームページで調べる](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット LinkBuds S

電源が入らない

- 充電式電池が十分に充電されているか確認してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットして充電しているときにはヘッドセットの電源を入れることができません。充電ケースからヘッドセットを取り出して、電源を入れてください。
- 充電ケースを充電してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでサービスとの連携をオンに設定している場合は、R側のヘッドセットを使用してください。L側のみでの使用はできません。
- タッチセンサーへの機能割り当てや音声アシスタントの設定によっては、片側のみで使用できないことがあります。

以下に従い、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を確認してください。

音声アシスタントの設定	仕様
〔モバイル機器の音声アシスト機能〕に設定	L側、R側、どちらでも片側のみで使用可能です。
〔Google アシスタント〕または〔Amazon Alexa〕に設定	タッチセンサーへの機能割り当てが〔再生コントロール〕になっている側のみ使用可能です。 使用したいヘッドセット側のタッチセンサーへの機能割り当てを〔再生コントロール〕に設定してください。 お買い上げ時はR側に〔再生コントロール〕が設定されています。 左右両方に〔再生コントロール〕を割り当てている場合は、R側のみ使用できます。
〔使用しない〕に設定	L側、R側、どちらでも片側のみで使用可能です。

- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

関連項目

- [充電する](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [ヘッドセットの電源を入れる](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

勝手に電源が切れてしまう

- 耳への装着がゆるい、イヤープースのヘッドホンへの装着が不十分、また、IRセンサーが汚れているなど、ヘッドセットのIRセンサーが装着を検出できないと、自動電源オフ機能が働いてしまい、自動的にヘッドセットの電源が切れる場合があります。ヘッドセットを耳にフィットするように装着し、IRセンサーが汚れている場合は、乾いた柔らかい布で清掃してください。
- “Sony | Headphones Connect”アプリの［システム］タブで自動電源オフを［オフしない］に変更することで、装着検出が動作し続けるため、症状が改善する場合があります。
- 充電式電池が十分に充電されているか確認してください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [充電する](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [各部の名前](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

充電できない

共通

- ヘッドセットが充電ケースに正しくセットされているか確認してください。
- 必ず付属のUSB Type-Cケーブルを使用し、ケーブルが充電ケースにしっかり接続されているか確認してください。
- イヤーピースがヘッドセットに正しく装着されていないと、付属の充電ケースで充電されない場合があります。ヘッドセットを充電ケースにセットするときは、イヤーピースの装着状態をご確認ください。
- 他社製のイヤーピースを使用していると、付属の充電ケースにて充電されない場合があります。付属のイヤーピースを使用して充電してください。
- ヘッドセットや充電ケースの端子が汚れたときは、充電できない可能性があります。乾いた柔らかい布で清掃してください。
- 周囲の温度が15℃～35℃の範囲で充電することをおすすめします。この範囲を超えると、効率のよい充電ができないことがあります。
- 充電ケースのふたが開いていると充電ケースの充電式電池を消費しますので、充電時は充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

USB ACアダプターで充電する場合

- USB ACアダプターが電源コンセントにしっかり接続されているか確認してください。
- 市販のUSB ACアダプターを使用する場合、出力電流0.5 A（500 mA）以上が供給可能なものをご使用ください。

パソコンで充電する場合

- USB Type-Cケーブルがパソコンにしっかり接続されているか確認してください。
- パソコンの電源が入っているか確認してください。パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態に入っている場合は解除してください。
- 充電ケースとパソコンがUSBハブなどを經由せずに直接つながれているか確認してください。
- 接続しているパソコンのUSB端子に問題がある可能性があります。パソコンに別のUSB端子がある場合は、その端子に接続しなおしてください。
- パソコンのOSを最新の状態にしてください。

関連項目

- [充電する](#)
- [イヤーピースを交換する](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

使用時間が短い、電池の持ちが悪い

- 以下の設定を行うと、電池の使用可能時間が短くなります。
 - イコライザー
 - DSEE Extreme
 - ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）
 - スピーク・トゥ・チャット
 - 音声で音声アシスト機能を起動させる機能
 - サービスとの連携
 - Bluetooth再生時の音質モード：音質優先

上記の設定を同時に行うと、電池の使用可能時間はさらに短くなります。

- 各種機能の設定や使用条件により、L側とR側とで充電式電池の消費の速さが異なる場合がありますが、異常ではありません。
- ヘッドセットの使用後は必ず充電ケースにセットしてください。ポケットなどに入れている場合、装着されていると認識し一定の時間が経過しても電源が切れないことがあります。
- 充電ケースのふたが開いていると充電ケースの充電式電池を消費しますので、充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。
- 通話時は、音楽再生時と比較して、電池の使用可能時間が短くなります。

関連項目

- [使用可能時間](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

充電時間が長い

- パソコンで充電する場合、充電ケースとパソコンがUSBハブなどを經由せずに直接つながれているか確認してください。また、パソコンを再起動し、USB接続をなおすことで症状が改善する場合があります。
- 付属のUSB Type-Cケーブルを使用しているか確認してください。
- 各種機能の設定や使用条件により、L側とR側とで充電式電池の消費の速さが異なる場合があります。そのため、L側とR側の充電式電池の充電時間が異なる場合がありますが、異常ではありません。
- 周囲の温度が15℃～35℃の範囲で充電することをおすすめします。この範囲を超えると、効率のよい充電ができないことがあります。
- 市販のUSB ACアダプターを使用する場合、出力電流0.5 A（500 mA）以上が供給可能なものをご使用ください。

関連項目

- [充電する](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット LinkBuds S

音が出ない、片側から音が出ない

共通

- Bluetooth機器とヘッドセットをもう一度機器登録（ペアリング）してください。
- 充電ケースを充電してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- お使いのスマートフォンやパソコンの再起動をしてください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度ペアリングをしてください。
- スピーク・トゥ・チャットモードが起動すると、音楽再生が一時停止します。この場合は、ヘッドセットのタッチセンサーを操作して、スピーク・トゥ・チャットモードを終了してください。
“Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、スピーク・トゥ・チャットの有効／無効を切り替えることができます。
- マルチポイント接続で2台の機器と同時に接続しているとき、接続した機器によっては、音楽や動画などの再生を停止しても無音の信号を送り続けるものがあります。この場合、ヘッドセットはその機器と接続したままになり、別の機器に音が切り替わらないことがあります。1台目の機器で再生を停止しても、2台目の機器から音が聞こえない場合は、以下の順にお試しいただき、改善されるかご確認ください。
 - “Sony | Headphones Connect”アプリで、[2台の機器と同時に接続] がオンになっていることを確認する。
 - 1台目の機器のアプリケーションで再生を停止する。
 - 1台目の機器のアプリケーションを終了する。
 - “Sony | Headphones Connect”アプリの[接続中の機器] → [接続機器の管理] から再生したい端末を選択した後、再生の操作をする。

パソコンと接続している場合

- パソコンと接続しているとき、パソコンの音声出力先はBluetooth機器になっているか確認してください。
- 音楽アプリや動画アプリを再起動してください。

片側のみ音が出ない場合

- “Sony | Headphones Connect”アプリでサービスとの連携をオンに設定している場合は、R側のヘッドセットを使用してください。L側のみでの使用はできません。
- タッチセンサーへの機能割り当てや音声アシスタントの設定によっては、片側のみで使用できないことがあります。

以下に従い、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を確認してください。

音声アシスタントの設定	仕様
[モバイル機器の音声アシスト機能] に設定	L側、R側、どちらでも片側のみで使用可能です。
[Google アシスタント] または [Amazon Alexa] に設定	タッチセンサーへの機能割り当てが[再生コントロール] になっている側のみ使用可能です。 使用したいヘッドセット側のタッチセンサーへの機能割り当てを[再生コントロール] に設定してください。 お買い上げ時はR側に[再生コントロール] が設定されています。 左右両方に[再生コントロール] を割り当てている場合は、R側のみ使用できます。
[使用しない] に設定	L側、R側、どちらでも片側のみで使用可能です。

- お使いのスマートフォンやパソコンのアプリ（HFP/HSPプロファイルを使用するもの）によっては、音声が一側からのみ聞こえる場合があります。

関連項目

- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

音が小さい

- イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていないかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、正しい音質、音量が得られない可能性があります。
その場合は、以下をお試してください。
 - より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。イヤーピースを交換するときは、大きめのイヤーピースからお試してください。左右のイヤーピースのサイズが異なる場合もあります。
 - ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。
- 接続先の機器で音量を調節してください。
音楽再生時の音量はヘッドセットでも調節できます。
- 通話するときの音量はヘッドセットでは調節できません。接続機器側で調節してください。
- Bluetooth機器とヘッドセットをもう一度接続しなおしてください。
- ヘッドセットの音導管（音出口の筒部）、通気孔、マイク部分は非耐水エリアです。音導管、通気孔、マイク部分に水が入ったままになると、一時的に音が小さくなりますが、故障ではありません。「[使い終わったら](#)」の内容に従い、お手入れをしてから使用してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

ご注意

- 接続機器によって、ヘッドセットと音量が連動するもの、連動しないものがあります。一度ヘッドセットの音量が下がってしまうと、連動しない機器の音量操作ではヘッドセットの音量が上げられません。
その場合は、ヘッドセットと接続先の機器両方の音量を上げてください。
接続機器側で調節しても音が小さい場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリ上で音量を調節してください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

音質が悪い、ノイズや異音が聞こえる

- イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていないか、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。
その場合は、以下をお試しください。
 - より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。イヤーピースを交換するときは、大きめのイヤーピースからお試しください。左右のイヤーピースのサイズが異なる場合もあります。
“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能を最大限に発揮するために最適なイヤーピースを測定することができます。
 - ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。
- 再生機器の音量が大きすぎる場合は、音量を下げてください。
- ヘッドセットと送信側Bluetooth機器が、HFPやHSPでのBluetooth接続になっているときは、接続機器を操作してA2DPでのBluetooth接続に切り替えてください。
- ヘッドセットを前回接続していたBluetooth機器に接続する場合は、ヘッドセットの電源を入れたときにHFP/HSPのみBluetooth接続される場合があります。接続機器を操作して、A2DPでBluetooth接続してください。
- ヘッドセットを使ってパソコンの音楽を聞く際、最初の数秒間のみ音質が悪い場合（例えばボーカルの声が聞こえにくい、など）があります。これはパソコンの仕様（通信開始時は通話優先で接続し、数秒後に音質優先に切り替わる）であり、ヘッドセットの故障ではありません。
もし数秒たっても音質が悪い場合は、パソコン側でA2DPでの接続操作をしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 商業施設や地下鉄駅の出入り口などの場所に、まれにネズミなどを撃退するために、特殊な超音波を発生する機器が設置されている場合があります。その機器の近くでは超音波の影響を受けてしまい、ヘッドセットからノイズや異音が聞こえる場合があります。ノイズや異音が聞こえる場所から離れてください。または、“Sony | Headphones Connect”アプリからノイズキャンセリング機能、外音取り込み機能をオフにしてください。

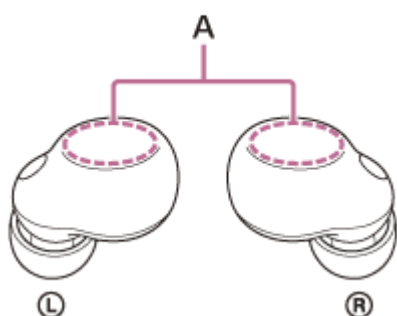
関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [イヤーピースを交換する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

音が途切れやすい

- ヘッドセットを接続優先に設定してください。詳しくは、「[音質モードについて](#)」をご覧ください。
- 送信機器のワイヤレス再生品質設定の変更により改善される場合があります。詳しくは、送信機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続するBluetooth機器のアンテナ部と、左右のヘッドセットに内蔵されているアンテナ部分との間に障害物がある場合は、障害物を避けてください。左右のヘッドセットのアンテナは、下記の図で点線で示した位置に内蔵されています。



A : 内蔵アンテナの位置（左、右）

- Bluetooth通信は以下の状況において、ノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。
 - － ヘッドセットとBluetooth機器の間に人体がある場合
この場合は、ヘッドセットのアンテナにBluetooth機器を近づけることで、Bluetooth通信が改善される場合があります。
 - － ヘッドセットとBluetooth機器の間に金属、壁などの障害物がある場合
 - － 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
 - － 駅構内や満員電車の中など他の無線通信オーディオ機器や人体が近くにある場合
- スマートフォンで音楽を聞いているときは、不要なアプリを閉じたり、スマートフォンを再起動すると改善される場合があります。パソコンで音楽を聞いているときは、不要なアプリやウィンドウを閉じて、パソコンを再起動してください。
- ヘッドセットとお使いのBluetooth機器をもう一度接続しなおしてください。
いったんヘッドセットを充電ケースにセットして充電ケースのふたを閉めてから、もう一度ヘッドセットを取り出し、Bluetooth機器と接続します。
- アダプティブサウンドコントロールをオンにしていると、行動を検出してノイズキャンセリング機能を自動で調整します。設定が変更されるときに、音楽が一瞬停止してしまう場合があります。これは不具合ではありません。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでサービスとの連携をオフにすると、音切れが改善することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

関連項目

- [音質モードについて](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

音楽再生中にノイズが入る

- ヘッドセットを使用したとき、歩行中や走行中に振動が体を伝わって聞こえることや、心音や呼吸音などの生体音が聞こえる場合がありますが、これは製品の性質上起こり得るもので、不具合ではありません。
- ヘッドセットの音導管（音出口の筒部）、通気孔、マイク部分は非耐水エリアです。音導管、通気孔、マイク部分に水が入ったままになると、一時的にピーという音（ハウリング）が出る場合があります。これは故障ではありません。「[使い終わったら](#)」の内容に従い、お手入れをしてから使用してください。
- アダプティブサウンドコントロール機能をオンにしていると、行動を検出してノイズキャンセリング機能を自動で調整します。設定が変更されるときに、音楽が一瞬停止して、通知音が鳴る場合があります。これは、設定が変更されたことをお知らせする音です。
この通知音をオフにしたい場合、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を変更できます。
- 左右のヘッドセットのマイク部分を手などで覆ったり、ヘッドセットを手で握ったりすると、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。これは不具合ではありません。このような場合は、左右のマイク部分から手などを離してください。
- 周囲の音がかなり大きい環境で外音取り込み機能をオンにすると、ノイズ音が聞こえる場合があります。これは不具合ではありません。このような場合は、ノイズキャンセリング機能をオンにするか、ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）をオフにしてご使用ください。
- 充電ケースを充電してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

関連項目

- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)
- [音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [使い終わったら](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

ノイズキャンセリング効果が得られない

- ノイズキャンセリング機能がオンになっているか確認してください。
- イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていないかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。
その場合は、以下をお試しください。
 - より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。イヤーピースを交換するときは、大きめのイヤーピースからお試しください。左右のイヤーピースのサイズが異なる場合もあります。
“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能を最大限に発揮するために最適なイヤーピースを測定することができます。
 - ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。
- ノイズキャンセリング機能は、飛行機・電車・オフィス・エアコンなどの低周波数域の騒音に効果的ですが、人の話す声など、高周波数域の騒音に対しては、ノイズキャンセリング効果が感じられない場合があります。
- “Sony | Headphones Connect”アプリのアダプティブサウンドコントロールがオンのときは、歩いたり走ったりする行動によって、ノイズキャンセリング機能が自動的に調整され、外音取り込み機能に切り替わることがあります。
ノイズキャンセリング機能を最大限に活用したい場合は、アダプティブサウンドコントロールをオフにし、手動でノイズキャンセリング機能をオンにする方法をお試しください。

関連項目

- [イヤーピースを交換する](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [ノイズキャンセリング機能とは](#)
- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

機器登録（ペアリング）できない

- ヘッドセットとBluetooth機器の距離を1 m以内に近づけてください。
- お買い上げ時やヘッドセットを初期化した後、修理返却後などに1台目をペアリングするときは充電ケースからヘッドセットを取り出すと自動的にペアリングモードになります。2台目以降の機器をペアリングする場合は、ヘッドセットを充電ケースにセットし、充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押し続けたままにして、ペアリングモードにする必要があります。
- イヤーピースがヘッドセットに正しく装着されていないなどの原因で、ヘッドセットが充電ケースに正しくセットされていない場合、ペアリングモードに移行できません。ヘッドセットが充電ケースに正しくセットされているか確認してください。
- ヘッドセットを初期化した後や修理返却後に機器をペアリングしなおす場合、接続する機器にヘッドセットのペアリング情報が残っているとペアリングできない場合があります（iPhoneなど）。その場合は接続する機器にペアリングされているヘッドセットのペアリング情報を削除してからペアリングをしてください。
- LE Audioで接続履歴のある機器が近くにあると、ペアリングモードに移行した際に自動で接続されてしまうことがあります。接続履歴がある機器のBluetooth設定をオフにしてから、新しい機器のペアリングをしてください。
- お使いのスマートフォンやパソコンなどの接続機器を一度再起動してから、もう一度ペアリングをしてください。
- 充電ケースを充電してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを一度閉めてから再度ふたを開けてください。充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度ペアリングをしてください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [イヤーピースを交換する](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

Bluetooth接続ができない

- ヘッドセットの電源が入っているか確認してください。
- Bluetooth機器の電源が入っていてBluetooth機能がオンになっていることを確認してください。
- ヘッドセットが前回接続していた別のBluetooth機器と自動的に接続されたときは、Bluetooth接続に失敗することがあります。その場合は、前回接続していたBluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断してください。
- Bluetooth機器がスリープ状態になっていないか確認してください。スリープ状態になっている場合は解除してください。
- Bluetooth接続が切断されていないか確認してください。切断されている場合は、もう一度Bluetooth接続を開始してください。
- Bluetooth機器側でヘッドセットの接続履歴情報を削除した場合、もう一度機器登録（ペアリング）が必要です。
- 充電ケースを充電してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度ペアリングをしてください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

ヘッドセットを操作できない

- ヘッドセットを耳に装着していないと操作できません。耳に装着してから操作してください。
- 耳への装着がゆるい、イヤープースのヘッドホンへの装着が不十分、また、IRセンサーが汚れているなど、ヘッドセットのIRセンサーが装着を検出できないと、自動電源オフ機能が働いてしまい、自動的にヘッドセットの電源が切れる場合があります。ヘッドセットを耳にフィットするように装着し、IRセンサーが汚れている場合は、乾いた柔らかい布で清掃してください。
- "Sony | Headphones Connect"アプリの[システム]タブで自動電源オフを[オフしない]に変更することで、装着検出が動作し続けるため、症状が改善する場合があります。
- タッチセンサーをタップしないと操作できません。タッチセンサーをタップするときは、人差し指で操作してください。
- タッチセンサーが水に濡れていたり、指が濡れていると操作できません。乾いたタオルなどで拭いてから操作してください。
- 手袋をはめていると操作できません。手袋を外して操作してください。
- タッチセンサーに髪の毛がかかっていると操作できません。タッチセンサーに直接指が触れるようにタップしてください。
- タッチセンサーの中央部をタップしてください。縁の部分に触ると反応しない場合があります。
- タッチセンサーは指の腹でタップしてください。爪や指の先端でタップすると反応しない場合があります。
- タッチセンサーをタップしたときにヘッドセットが動くと反応しない場合があります。
- "Sony | Headphones Connect"アプリでタッチセンサーに割り当てられている機能を変更した場合は、正しく機能を割り当てたかをアプリで確認してください。
- 充電ケースを充電してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。
- 発信中、通話中に通話移管ができない場合は、"Sony | Headphones Connect"アプリで[外音コントロール]の機能がタッチセンサーに割り当てられていないかご確認ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [タッチセンサーについて](#)
- ["Sony | Headphones Connect"アプリでできること](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)
- [通話時にできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

通話相手の声が聞こえない・声が小さい、通話相手に声が届かない・声が小さい

- 接続先の機器とヘッドセットの電源が入っているか確認してください。
- 接続先の機器の音量が小さすぎるときは音量を上げてください。
- ビデオ通話用アプリを使用するとき、ビデオ通話用アプリの設定(*)を開き、スピーカー、もしくはマイクの設定が[ヘッドセット(LinkBuds S Hands-Free)](**)になっているかを確認してください。ビデオ通話用アプリの設定が確認できない場合や、通話の接続[ヘッドセット(LinkBuds S Hands-Free)]を選択できない場合は、パソコンの設定から[ヘッドセット(LinkBuds S Hands-Free)]を選び、接続してください。

* お使いのビデオ通話用アプリによっては、機能がない場合があります。

** 名称はお使いのパソコンやビデオ通話用アプリによって異なります。

- イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていないかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。
その場合は、以下をお試しください。
 - － より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。イヤーピースを交換するときは、大きめのイヤーピースからお試してください。左右のイヤーピースのサイズが異なる場合もあります。
“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能を最大限に発揮するために最適なイヤーピースを測定することができます。
 - － ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットしてふたを閉めてください。その後、ヘッドセットを取り出し、もう一度Bluetooth機器と接続してください。
- スマートフォンやパソコンなどのBluetooth機器を再起動して、もう一度ヘッドセットと接続してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録(ペアリング)をしてください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [電話を受ける](#)
- [電話をかける](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [イヤーピースを交換する](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

LE Audio接続できない

- LE Audioに対応したAndroid搭載スマートフォンをお使いください。最新の対応機種情報は、サポートホームページをご覧ください。また、スマートフォンのソフトウェアは最新のバージョンをお使いください。
- ヘッドセットのソフトウェアを最新のバージョンにアップデートしてください。
- LE Audio接続への切り替えは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行います。詳しくは、「[Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する](#)」をご覧ください。
- ヘッドセットとAndroid搭載スマートフォンがClassic Audioで接続されている場合、“Sony | Headphones Connect”アプリで［ヘッドホンのLE Audio接続設定］を［LE Audio優先］に変更し、Android搭載スマートフォンと機器登録（ペアリング）し直す必要があります。詳しくは、「[Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する](#)」をご覧ください。
- LE Audioに対応しているパソコンと接続する場合、お使いのパソコンのLE Audio設定をオンにしてください。

関連項目

- [Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [サポートホームページで調べる](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

Classic Audio接続に戻せない

- Classic Audio接続への切り替えは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行います。詳しくは、「[Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する](#)」をご覧ください。
- 接続設定変更後に接続が成功しない場合は、機器登録（ペアリング）情報を一度削除してからペアリングし直してください。
- “Sony | Headphones Connect”アプリで、[Classic Audio専用（従来の接続方式）] に切り替えられない場合は、ヘッドセットを初期化してください。

関連項目

- [Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

イヤークピースが破損した、紛失した

- イヤークピースを新しいものと交換するときは、別売のEP-EX11シリーズをお買い求めください。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

耳が痛くなる

- イヤーピースの大きさが耳に合わないと感じられる場合には、イヤーピースを交換してください。イヤーピースを交換するときは、大きめのイヤーピースからお試してください。左右のイヤーピースのサイズが異なる場合もあります。
- ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。
- ヘッドセットを長時間装着し続けると耳が痛くなる場合があります。適宜休憩をはさみながら使用してください。

関連項目

- [イヤーピースを交換する](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)

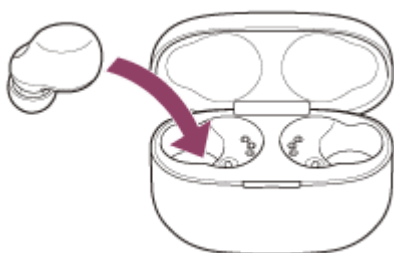
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

リセットする

ヘッドセットの電源が入らない、または電源が入っているのに操作ができない場合は、ヘッドセットをリセットしてください。リセットは片側ずつ行ってください。

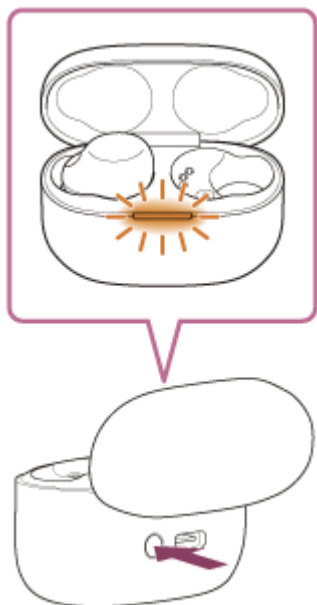
① 片側のヘッドセットを充電ケースにセットする。

充電ケースのふたは開けたままにしてください。



② 充電ケースのリセットボタンを約20秒以上押したままにする。

充電ケースのランプ（オレンジ）が、約15秒後から約5秒間ゆっくり点滅します。



その後、充電ケースのランプが消灯し、ヘッドセットがリセットされます。

リセットが完了すると、充電ケースのランプ（オレンジまたは緑）が約3秒間点灯してヘッドセットの充電式電池の残量を表示し、消灯します。

③ ランプが消灯したことを確認して指を離す。

④ ヘッドセットを充電ケースから取り出し、もう片側のヘッドセットで手順 ① から操作する。

機器登録（ペアリング）情報、その他の設定は保持されます。
症状が改善されないときはヘッドセットを初期化してください。

取扱説明動画について

リセットの手順は、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0048/ja/>

関連項目

- [初期化する](#)

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

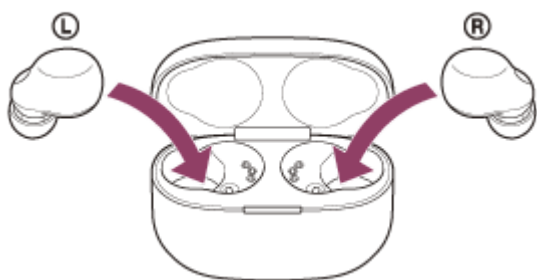
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

初期化する

ヘッドセットをリセットしても症状が改善されないときは、初期化してください。

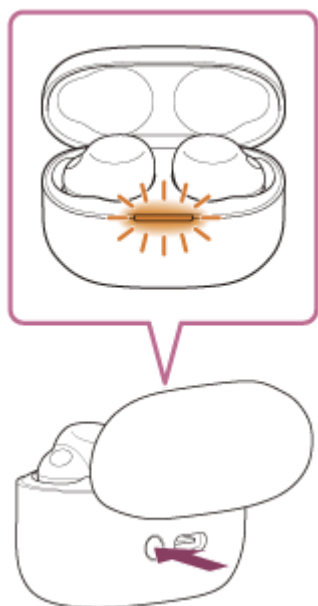
1 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

充電ケースのふたは開けたままにしてください。



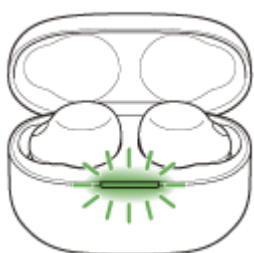
2 充電ケースの初期化ボタンを約15秒以上押したままにする。

充電ケースのランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返した後、ランプ（オレンジ）が点滅し始めます。



3 充電ケースのランプ（オレンジ）が点滅し始めてから5秒以内に指を離す。

初期化が完了すると、充電ケースのランプ（緑）が4回点滅します。



音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべての機器登録（ペアリング）情報を削除します。この場合は接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除してもう一度ペアリングをしてください。

初期化しても動作が改善されないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店へお問い合わせください。

取扱説明動画について

初期化の手順は、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0049/ja/>

ヒント

- "Sony | Headphones Connect"アプリからヘッドセットを初期化することもできます。

ご注意

- 充電ケースの充電式電池に十分な残量がない場合は、ヘッドセットを初期化できません。充電ケースを充電してください。
- 手順 ③ の操作後に充電ケースのランプ（緑）が4回点滅しない場合は、ヘッドセットは初期化されていません。もう一度手順 ② から操作してください。
- お買い上げ後にソフトウェアをアップデートした場合は、ヘッドセットを初期化してもアップデートした状態が保持されます。
- 音声ガイダンスの言語を変更した状態でヘッドセットを初期化すると、言語も初期状態に戻ります。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

5-035-792-01(7) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
LinkBuds S

主な仕様

ヘッドセット

電源：

DC 3.85 V：内蔵充電式リチウムイオン電池

DC 5 V：USB充電時

許容動作温度：

0 °C～40 °C

充電時間：

約2時間（本体）

約3時間（充電ケース）

ご注意

- 使用条件により変わる場合があります。

充電温度：

5 °C～35 °C

質量：

約4.8 g × 2（ヘッドセットのみ イヤーピース（M）含む）

約35 g（充電ケース）

通信仕様

通信方式：

Bluetooth標準規格 Ver. 5.2

出力：

Bluetooth標準規格 Power Class 1

最大通信距離：

見通し距離 約10 m（*1）

使用周波数帯域：

2.4 GHz帯（2.4000 GHz - 2.4835 GHz）

対応Bluetoothプロファイル（*2）：

A2DP/AVRCP/HFP/HSP

TMAP/CSIP/MCP/VCP/CCP

対応コーデック（*3）：

SBC

AAC

LDAC
LC3

伝送帯域（A2DP）：

20 Hz - 20 000 Hz（44.1 kHzサンプリング時）

20 Hz - 40 000 Hz（LDAC 96 kHzサンプリング、990 kbps 時）

*1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

*2 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

*3 音声圧縮変換方式のこと

ヘッドセットの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

対応iPhone/iPod

iPhone 12 Pro Max
iPhone 12 Pro
iPhone 12
iPhone 12 mini
iPhone SE（第2世代）
iPhone 11 Pro Max
iPhone 11 Pro
iPhone 11
iPhone XS Max
iPhone XS
iPhone XR
iPhone X
iPhone 8 Plus
iPhone 8
iPhone 7 Plus
iPhone 7
iPhone SE
iPhone 6s Plus
iPhone 6s
iPhone 6 Plus
iPhone 6
iPhone 5s
iPod touch（第7世代）
iPod touch（第6世代）
※ 2022年2月 現在